

第2次宝塚市スポーツ振興計画（案） 「アクティブ宝塚」

令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）

令和3年（2021年）○月
宝塚市教育委員会

目次

第1章	計画改定の趣旨と概要	
1.	計画改定の背景と趣旨	1
2.	「スポーツ」の定義と スポーツ振興の定義	2
3.	計画の位置づけ	3
4.	計画の期間	3
5.	計画の構成	3
第2章	宝塚市民のスポーツ実施の現状とニーズ	
1.	宝塚市スポーツ意識調査の概要	5
2.	市民のスポーツ実施状況	6
3.	市民のスポーツ実施意欲	9
4.	市民のスポーツ推進への期待	14
第3章	計画の政策・行動・条件目標	
1.	スポーツ振興計画の概要	17
2.	計画の政策目標と行動目標	17
3.	行動目標達成のためのニーズ目標	17
第4章	計画の事業目標	
1.	施策事業の概要	18
第5章	計画の全体像と評価計画	
1.	計画の全体像	35
2.	評価計画（縦断的評価）	35
3.	評価計画（横断的評価）	35
4.	「アクティブ宝塚」全体概要	35
資料		
	市民意識調査票	38
	宝塚市スポーツ推進審議会等名簿	48
	策定審議経過	49

第1章 計画改定の趣旨と概要

1. 計画改定の背景と趣旨

わが国では「スポーツ基本法」（平成 23（2011）年 8 月施行）の制定を受け、翌年の平成 24（2012）年 3 月に「スポーツ基本計画」が策定され、スポーツ政策の具体的な方向性が示されました。さらに、平成 27（2015）年 10 月には、省庁の枠組みを超え、総合的にスポーツ施策を推進するために新たに「スポーツ庁」が創設され、スポーツ行政の一元化が図られてきました。また、平成 31（2019）年にラグビーワールドカップ開催、令和 3（2021）年に東京オリンピック・パラリンピック、令和 4（2022）年にはワールドマスターズゲームズ 2021 関西などの国際的スポーツイベントの開催を控える中、平成 29（2017）年 3 月に「第 2 期スポーツ基本計画」（平成 29 年度～令和 3 年度）を策定し、スポーツを「する」だけでなく、「みる」や「ささえる」といった参画の仕方により、スポーツ参画人口の拡大を目指してきました。兵庫県では、平成 24（2012）年に「兵庫県スポーツ推進計画」を策定し、今後概ね 10 年間にわたり「する、みる、ささえる」を基本に、一人ひとりが健康で、いきいきと暮らす社会「スポーツ立県ひょうご」の実現に向けた基本的方向が示されました。

宝塚市では、これら以前の平成 22（2010）年 4 月に「宝塚市スポーツ振興計画（アクティブ宝塚[※]）」を策定・展開してきており、市民のスポーツ活動への積極的な参加（「する」、「みる」、「ささえる」）の呼びかけと市民のスポーツニーズに応えていくための推進体制の強化を図ってきました。令和 2（2020）年度で「宝塚市スポーツ振興計画（アクティブ宝塚）」の計画期間が終了するため、これまでの振興事業の効果を検証すると同時に、現行計画を見直し、現在の社会情勢や地域の実情を踏まえながら、市民の新たなスポーツニーズに応えていくためのプランに改定します。第 2 次計画の策定と推進によって、これまでのスポーツ振興の実績を継承するとともに、国や県の計画との整合性を図りながら、宝塚市独自の目標と振興事業を掲げ、豊かな市民のスポーツライフと宝塚市のスポーツ文化が活性化する「アクティブ宝塚」の実現を目指していきます。

※アクティブ宝塚：平成 22（2010）年度から令和元（2019）年度に限定した計画の名称として「アクティブ宝塚」を用いてきましたが、「アクティブ」という用語が 2020 年に世界的に蔓延した新型コロナウイルスによる閉塞感を打破し、個人の身体的な活動レベルの活性化だけでなく、集団や社会全体の組織の活性化を促すとともに、未来をつなぐ子どもたちの将来の活性化や個々人の人生の活性化にも通ずることから、スポーツを通じて人と未来が輝き活力ある宝塚市の将来像を皆で実現していこうと込められたメッセージを継承して使用します。

2. 「スポーツ」の定義とスポーツ振興の意義

第1次宝塚市スポーツ振興計画に続き、本計画においても「スポーツ」を幅広く捉え、散歩やジョギングなどの運動から、個人競技やチーム競技などの制度化された競技スポーツに到るまで、レベルや内容にかかわらず、自由時間の中で自発的に実施される人々の身体運動を伴う全ての文化的活動として、スポーツを定義しています。また、計画策定にあたっては、「する」スポーツだけではなく、スポーツ応援・観戦等の「みる」スポーツや、スポーツボランティア、指導者、コーチなどに代表される、「ささえる」スポーツの分野を含めた総合的観点から、宝塚市のスポーツ文化全体を豊かに育成していくための振興ビジョンを掲げています。

このような広義のスポーツへの捉え方は、これまでの身体運動の効果として最も頻繁に引用されてきた医学的な身体的・健康的な便益だけではなく、家族や地域集団、社会・経済・文化に対しても、スポーツは様々な価値や社会的便益をもたらす可能性があることを前提としています。これまでの国内外の事例や学術的情報を概括すると、下の表に示すように、スポーツに関わる諸活動は、健康・身体、精神・心理的な個人的便益に止まらず、労働的、社会経済的、社会集団的、社会文化的便益をもたらすことが示唆されています。本計画は、このようなスポーツの持つ様々な効用や影響力を活性化し、市民全体に対しこれらの便益がもたらされることを、振興計画の目指すべきゴールとして掲げています。

表 1-1 スポーツ参加がもたらす便益・効果

1. 身体的効果	2. 心理・精神的効果	3. 教育・労働的效果
冠動脈疾患 高血圧 糖尿病 肥満 骨粗鬆症 直腸癌 寝たきり ADL 障害 ↓	ストレス 孤独感 ↓	欠勤率 ↓
体力 ↑	精神的充足 気晴らし 生きがい 生活満足度 主体的幸福感 自己実現 サポート受容 役割維持 新たな役割修得 ライフイベント適応 ↑	人間形成 仲間づくり 思いやり 社会的活動 労働意欲 生産性 ↑
4. 社会経済的效果	5. 社会集団的效果	6. 社会文化的効果
医療費・介護経費 医療機関受診率 福祉施設利用度 ↓	社会ネットワーク 社会的交流 交友関係 世代間交流 夫婦仲 ↑	否定的な加齢観 ↓ 地域への密着度 活力ある社会 地域活性化 地域イメージアップ 国際交流・理解 ↑

「▼」はスポーツ参加によって減少、「▲」は増加する傾向を示す。

出典：ジェロントロジースポーツ研究所「ジェロントロジースポーツ」2007

3. 計画の位置づけ

この計画は、平成 23 年 6 月に制定されたスポーツ基本法第 10 条第 1 項に基づき、国の「第 2 期スポーツ基本計画」（平成 29 年度～令和 3 年度）、および県の「兵庫県スポーツ推進計画」（平成 24 年度～令和 3 年度）を参考に、宝塚市の現状に即したスポーツを推進するための取り組みを総合的かつ計画的に進めるための指針として策定します。

また、「第 6 次宝塚市総合計画」の子ども・教育の部門計画として位置づけ、「宝塚市教育振興基本計画」などの関連計画と整合性を図りながら推進していきます。

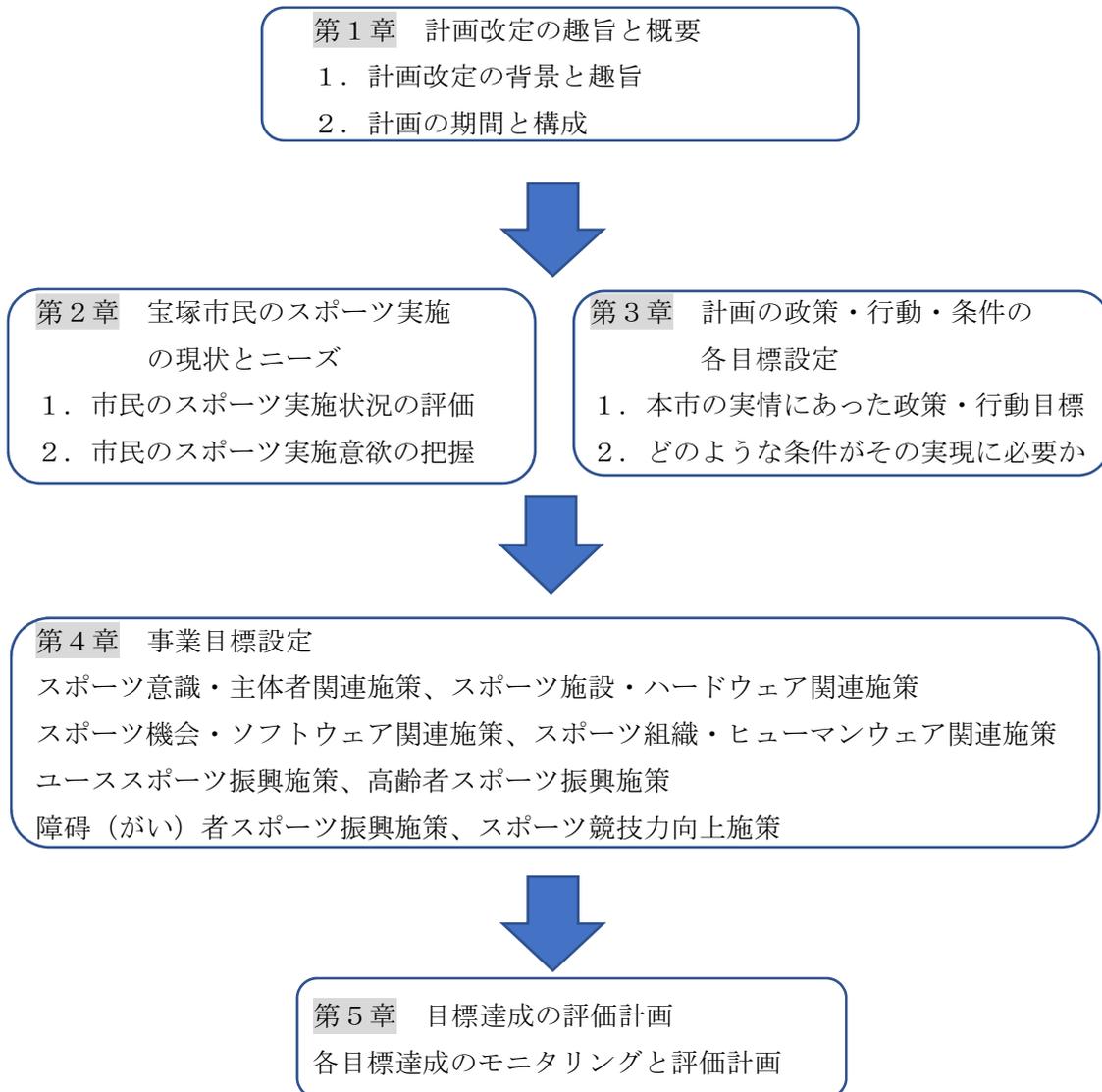
4. 計画の期間

- 令和 3（2021）年度から令和 12（2030）年度までの 10 年計画とし、令和 7（2025）年度までを計画前期、残りを計画後期とします。
- 毎年度末に計画の進捗状況について、スポーツ振興課やスポーツ推進審議会でのフォローアップを行い、その結果に基づいて効率的かつ弾力的に計画の推進を図ります。
- 今後の策定が予想される国の第 3 期スポーツ基本計画や県の推進計画の内容については、必要のつど本計画に反映していきます。
- 計画前期の最終年次の前年度である令和 6（2024）年度に、前期事業の成果分析を行い、後期実施計画の改善を柔軟に行っていきます。

5. 計画の構成

第 2 次宝塚市スポーツ振興計画（アクティブ宝塚）の構成としましては、計画改定の趣旨と概要、宝塚市民のスポーツ実施の現状とニーズ、計画の政策・行動・条件の各目標設定、計画の事業目標、計画の全体像と評価計画の順で、段階的に各内容を作成しています。すなわち、市民のスポーツ参加とスポーツ振興の意義を確認した上で（第 1 章）、市民のスポーツ参加の現状評価とニーズ分析を行い（第 2 章）、行動目標を達成するための条件を検討し（第 3 章）、その条件改善や整備に向けた施策と各種事業を再立案した上で（第 4 章）、これらの目標達成の評価計画（第 5 章）を定めています。

アクティブ宝塚の策定プロセスと章構成の概要



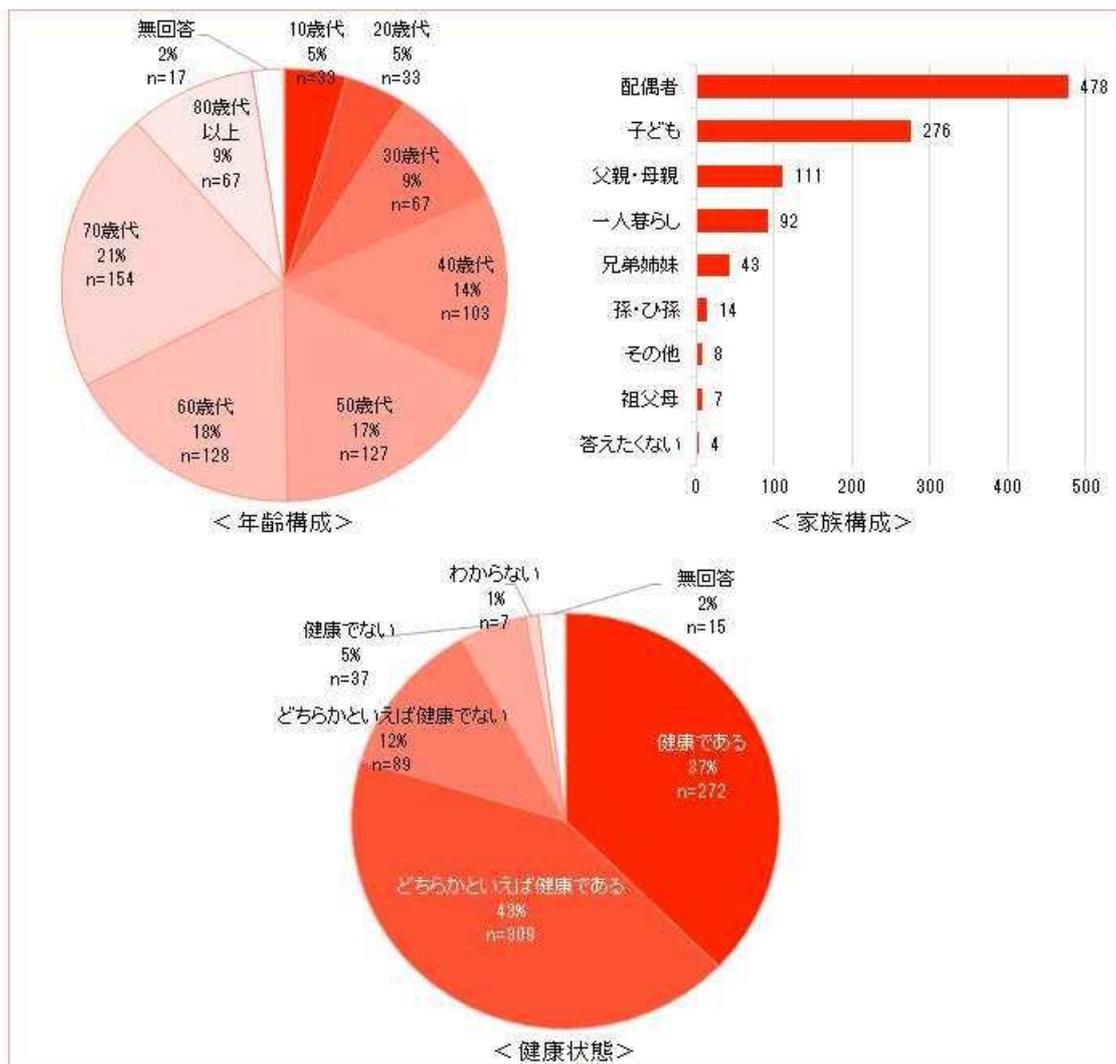
第2章 宝塚市民のスポーツ実施の現状とニーズ

【1】宝塚市スポーツ意識調査の概要

計画策定にあたり、市民のスポーツ参加に関する現状や動向を把握するため、運動・スポーツに関する市民意識調査（以下「市民意識調査」という。）を以下の方法により実施しました。特に本調査は、どのようなスポーツをいかに楽しみたいのか、それを実現するにはどのようなサポートが必要なのかという、様々なスポーツ実施に関する具体的な市民のニーズを明らかにすることに注目しています。

- 1 母集団 市内在住の15歳以上人口
- 2 抽出方法 男女年齢別の人口構成比率に基づき、住民基本台帳から性別・年齢別に均等割付抽出を行い、15歳以上人口からなる調査対象者リストを作成した。(3000ケース)
- 3 調査方法 調査票の郵送による配布・回収方式で、自計法とした。
- 4 調査期間 令和2年(2020年)2月10日から4月30日を実査期間とした。
- 5 回収状況 回収数 730(回収率 24.3%)
有効回答数 729(有効回答率 24.3%)
- 6 調査項目
 - ①スポーツ活動実施状況レベル
 - ②スポーツ種目ニーズ指標(各スポーツ種目実施率と実施意欲)
 - ③スポーツ条件ニーズ指標(希望スポーツ種目実施の条件内容)
 - ④スポーツ志向ニーズ指標(スポーツの楽しみ方と現状ニーズ)
 - ⑤スポーツ環境・情報ニーズ指標(スポーツ環境と情報に対する評価と利用ニーズ)

図2-1 調査対象者の属性

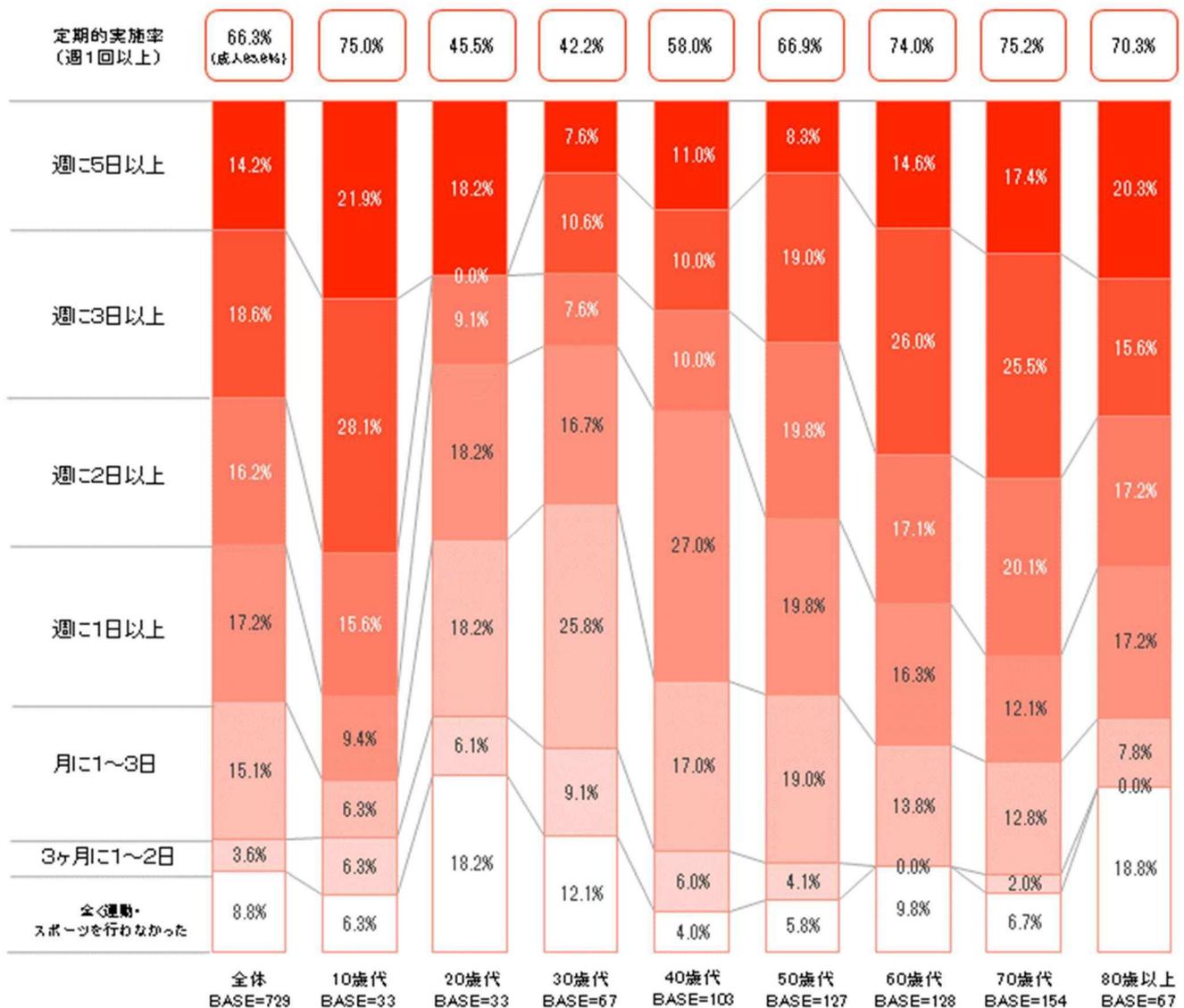


【2】市民のスポーツ実施状況(1)

●前回調査(2009年)に続き、全国平均を上回る宝塚市民の定期的スポーツ実施率

宝塚市のスポーツ活動の実施状況について、過去1年間の実施頻度レベルを各世代で算出しました。国のスポーツ基本計画の目標値(65%)となっている成人の週1回以上の定期的スポーツ実施率は、今回の市民意識調査で65.6%の数値を示し、全国平均である53.6%を大きく上回る結果となりました。年代別にみると、10歳代が75%、20歳代が45.5%、30歳代が42.2%、40歳代が58%、50歳代が66.9%、70歳が75.2%、80歳以上が70.3%と70歳以上の年齢層で高い実施率となりましたが、20～40歳代が全国目標値である65%を下回っていることが分かりました。一方、「全く運動・スポーツを行わなかった」と回答した非実施率に着目してみると、20歳代と80歳以上の方の割合が他の年代に比べると高くなっており、特に高齢世代については、運動やスポーツを定期的に行う人と全く行わない人の二極化が進むことが明らかとなっています。宝塚市における今後のスポーツ振興では、定期的スポーツ実施者のニーズに対応した事業の推進と同時に、若年層を含む全ての世代の運動・スポーツ非実施者に対する働きかけを行っていくことが必要なことを示唆しています。

図2-2 過去1年間のスポーツ実施頻度

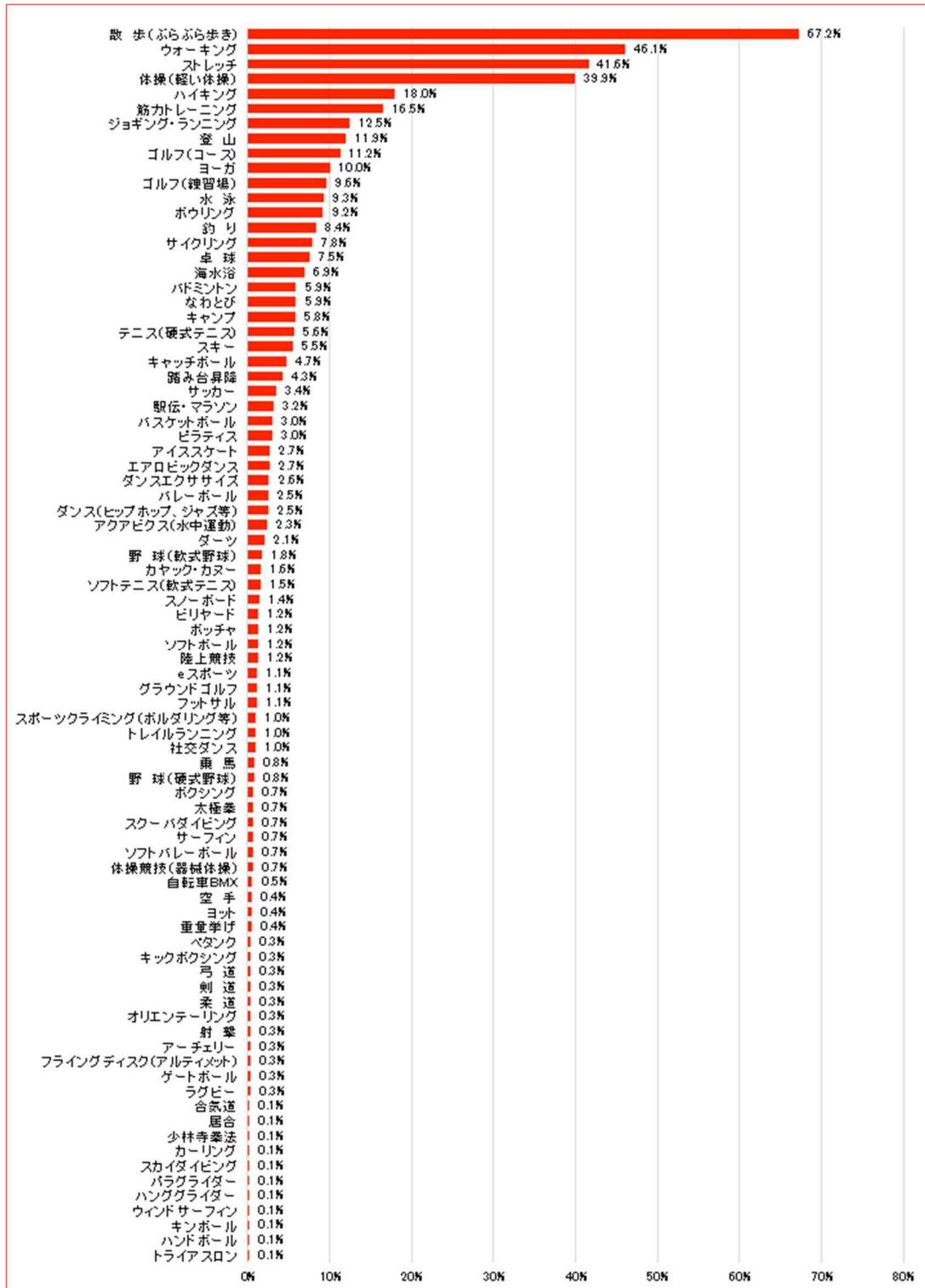


【2】市民のスポーツ実施状況(2)

●前回調査と同じく歩行・体操系に限らず様々なスポーツ種目を実施

過去1年間における様々な運動・スポーツ種目の実施経験について回答を求めたところ、前回調査と同様に実施率の高かった歩行系（散歩・ぶらぶら歩き、ウォーキング等）や体操系（ストレッチ、軽い体操、筋力トレーニング等）の他に、水泳系、球技系、アウトドア系、マリンウォーター系、ウィンタースポーツ系、武道系におよぶ多種多様なスポーツ種目を実施していることが分かります。

図2-3 運動・スポーツ種目の参加現状率（複数回答）

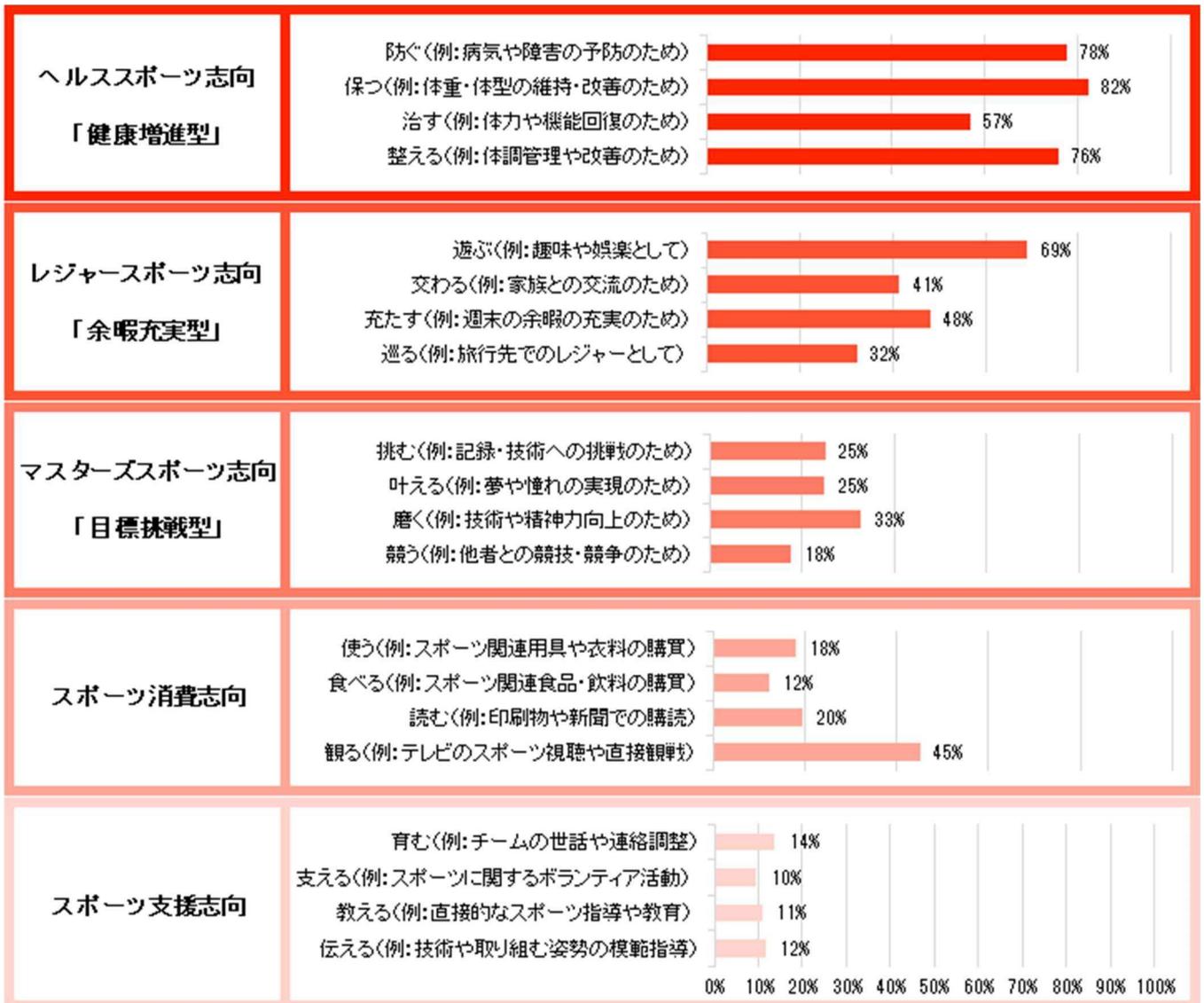


【2】市民のスポーツ実施状況(3)

●多様な「する」スポーツと「かう」、「ささえる」スポーツの楽しみ方を実践しているアクティブな市民

宝塚市民の運動・スポーツ活動の目的や楽しみ方について、20項目の質問でたずね、それぞれの関係性を分析したところ、下の図に示すように、健康増進を目的としたヘルススポーツ志向、余暇充実を目的としたレジャースポーツ志向、目標挑戦を目的としたマスターズスポーツ志向、「買う」や「読む」等を通じた関わりとなるスポーツ消費志向、「教える」や「支える」等の楽しさを目的としたスポーツ支援志向の5つに集約されました。前回調査と同様、健康増進を目的とした運動・スポーツ活動への関わり方を中心として、趣味・娯楽や人的交流、旅行・観光を目的とした余暇充足型や、技術習得や目標達成、競技や大会参加を楽しむ目標挑戦型としてのスポーツ活動への関わり方も見られました。また、テレビやスタジアム等での直接観戦や情報媒体の購読、関連用具の購入等の消費行動や、スポーツ実施を直接的に指導したり、活動を支援するボランティアとしての楽しみ方も見られたことから、宝塚市民は「する」スポーツだけに留まらず、スポーツ消費者や指導・支援者としての多様な関わり方と楽しみ方をしていることが分かります。

図2-4 スポーツ参画志向別にみた現在の関わり方



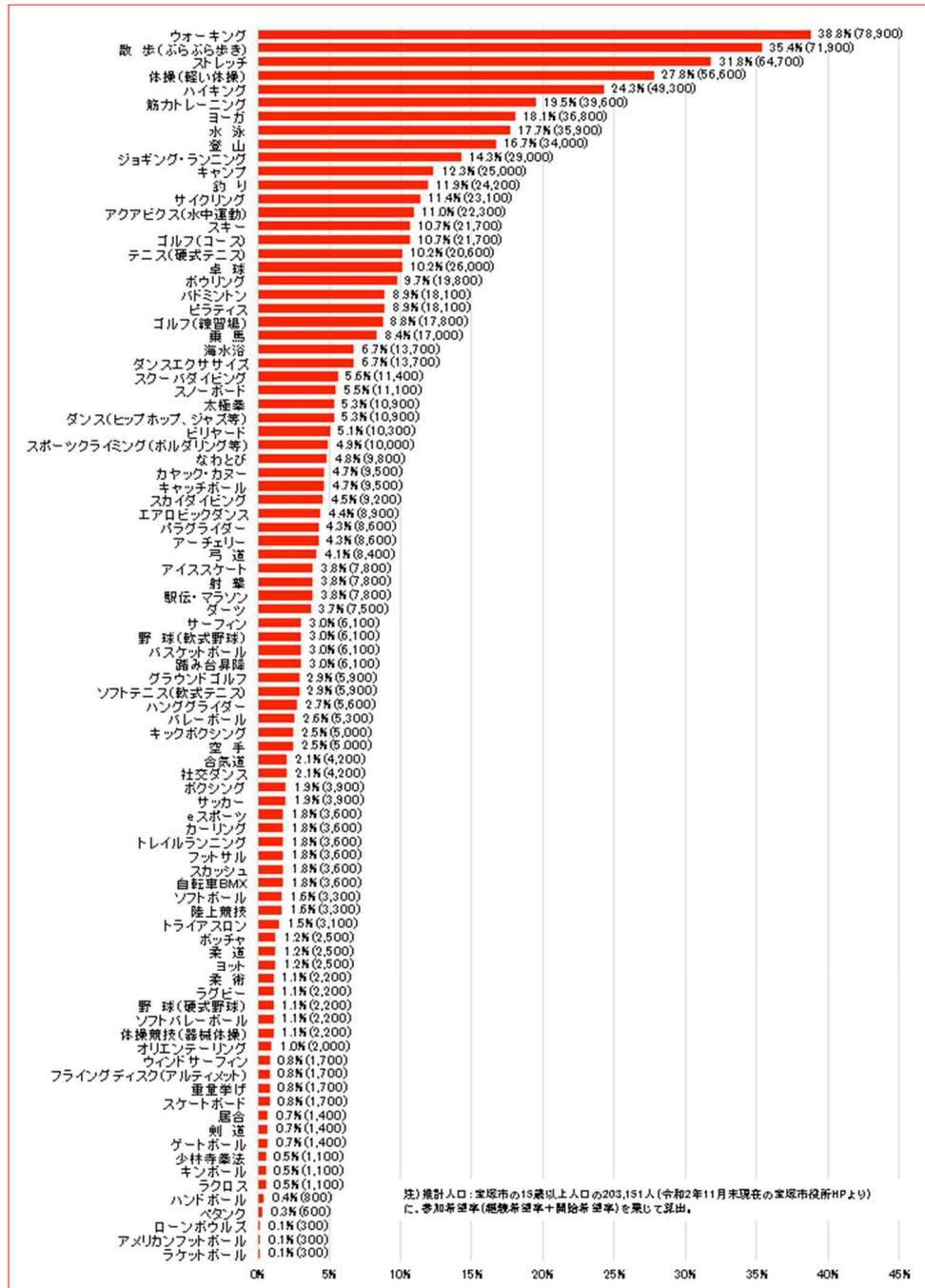
(BASE=604)

【3】市民のスポーツ実施意欲(1)

●多様なスポーツ種目に実施意欲がある宝塚市民

宝塚市民にどのようなスポーツ種目に参加したいかという意欲についてたずねたところ、下図に示す90種目において実施希望が示されました。ウォーキングや散歩、ハイキングの歩行系と、ストレッチや軽い体操といった体操系種目は前回調査と同様に上位種目を占め、推定4万人を超える人口が実施を希望しています。一方で、水泳系や球技・チームスポーツ系、アウトドア系、武道系、ゲーム・レクリエーション系等の各種目実施の希望も広範囲に確認でき、各種目実施の潜在規模の大きさが見受けられます。

図2-5 運動・スポーツ種目の参加希望率（複数回答）

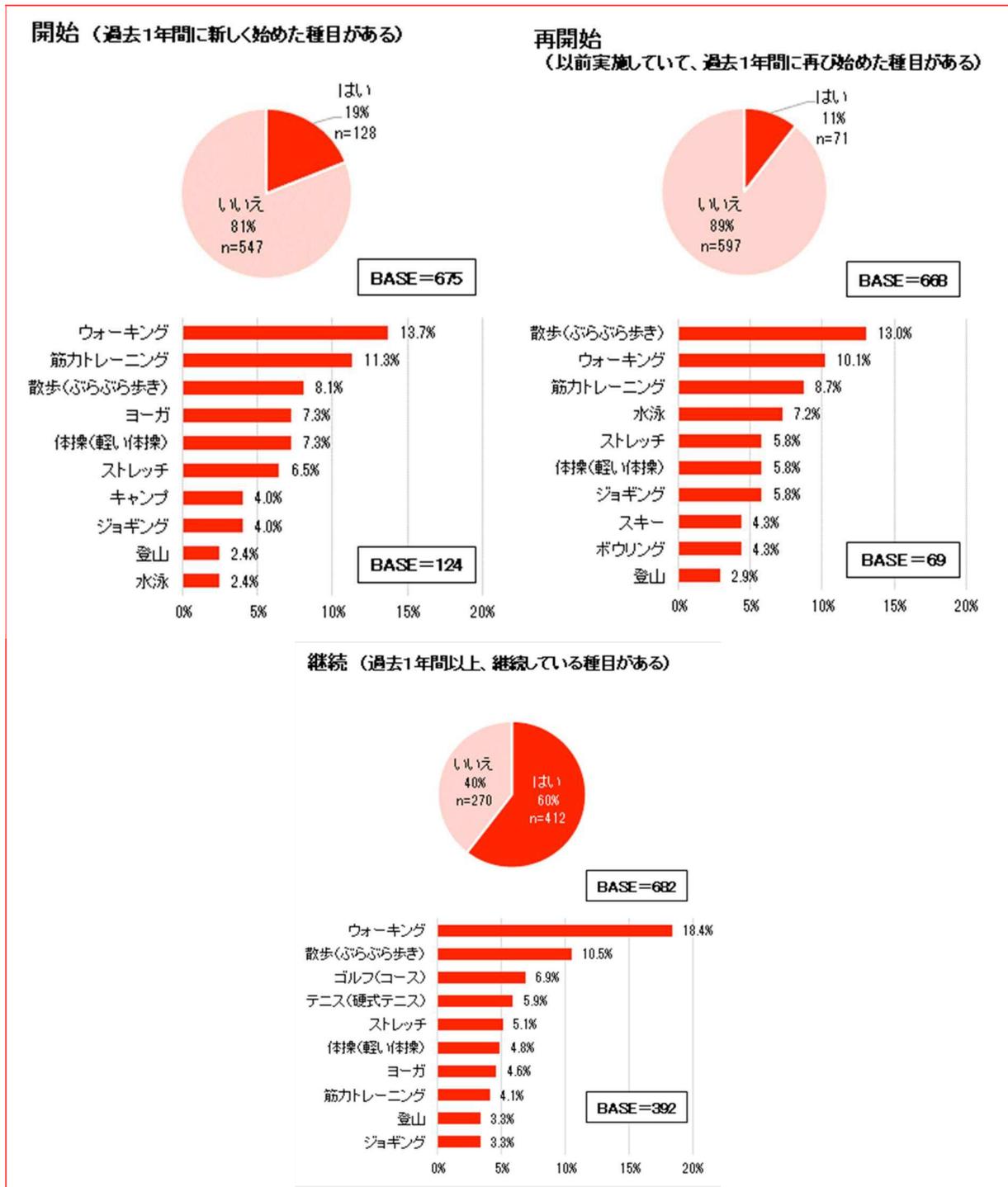


【3】市民のスポーツ実施意欲(2)

●開始・再開した種目、継続している種目はいずれも歩行系種目が上位に

宝塚市民が過去1年間に新しく始めた種目と再び始めた種目、1年以上継続して実施している種目についてたずねた結果、ウォーキングや散歩、筋力トレーニングを開始したり再開していることが分かりました。また、市民の6割が1年以上継続している種目を有しており、開始・再開種目にある歩行系や体操系の上位種目と同様の傾向が見られましたが、ゴルフ(コース)や硬式テニスを継続実施している市民の姿も認められました。歩行系や体操・トレーニング系種目の身体活動は市民にとって継続志向の高いスポーツ種目と言えます。

図2-6 運動・スポーツ種目の開始・再開・継続の上位10種目



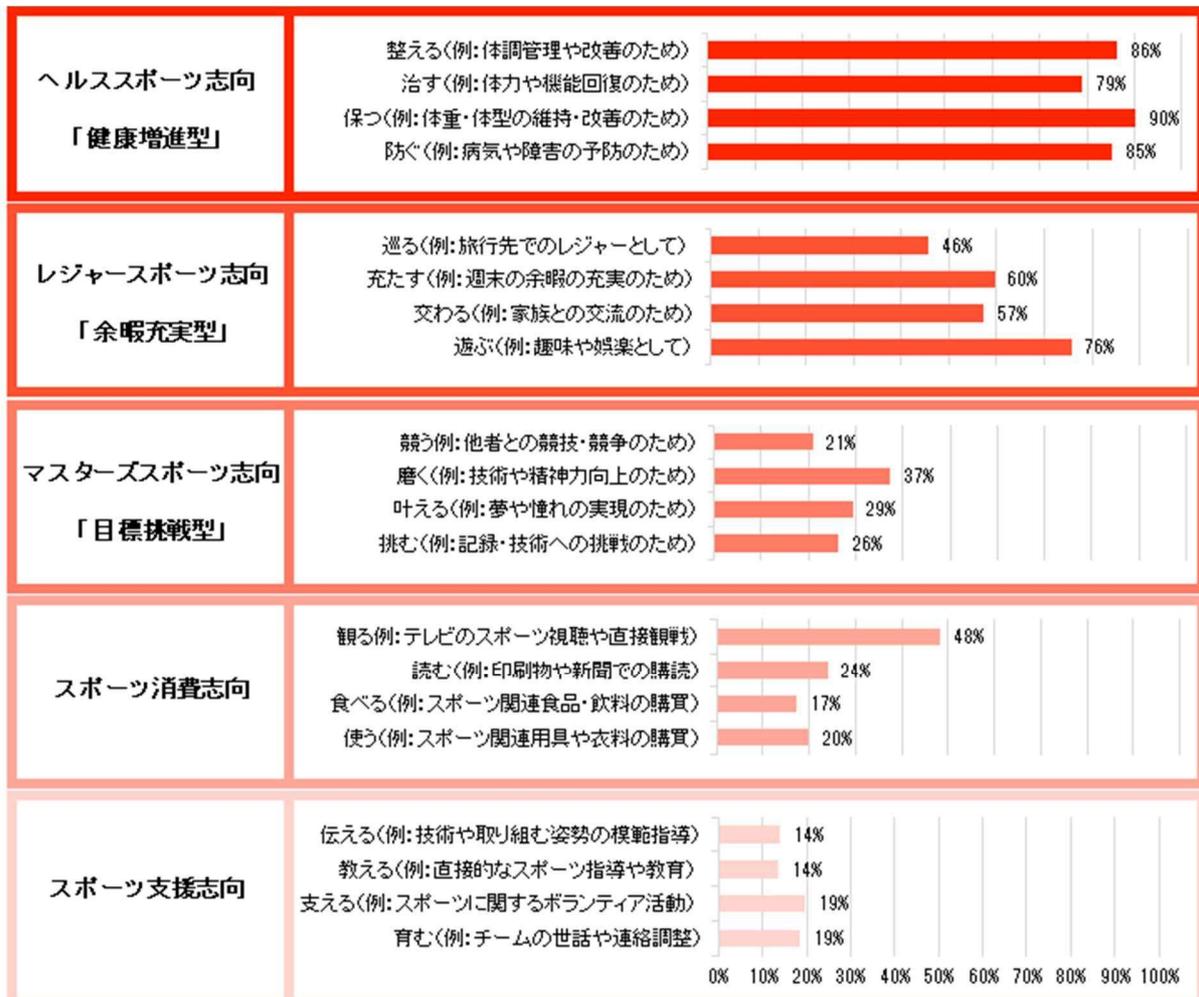
【3】市民のスポーツ実施意欲(3)

●健康増進や余暇充足、目標達成に加え、スポーツ消費や支援へのニーズも高い宝塚市民

今後希望するスポーツ活動の参画志向に関するニーズについて、前述した現状の楽しみ方や実施目的の質問を用いて得られた回答を集約した結果、現状のデータと同様に、健康増進を目的とするヘルススポーツ志向のニーズが最も高く、次いで余暇充足を目指すレジャースポーツ志向、目的達成を重視するマスターズスポーツ志向の「する」スポーツの楽しさや目的に加え、「買う」や「読む」等に代表されるスポーツ消費志向、「教える」や「支える」等の楽しさや役割をもつスポーツ支援志向の順に5つの楽しみ方のボリュームが見られました。

市民が今後、運動・スポーツ活動をどのように楽しみたいかという質的な経験希望の回答結果から宝塚市の動向を探ると、健康増進型のニーズが多く見られるものの、余暇充実や目標挑戦を目的としてスポーツ活動の楽しさの享受しようとする意欲や、スポーツに参加するだけでなく、消費者としてスポーツに接したり、スポーツ実施を直接的に指導や応援したりする楽しみ方に対する市民のニーズは高いと言えます。これらのスポーツニーズを踏まえながら、市民のライフスタイルや目的に応じたスポーツプログラムや事業を充実させていくことが重要です。

図2-7 スポーツ参画志向別にみた希望する関わり方



(BASE=623)

【3】市民のスポーツ実施意欲(4)

●市内の主要なスポーツ関連施設は認知度＞利用希望度＞利用実績度の順となり、利用度の低さが課題

宝塚市民が利用できる運動・スポーツ関連施設の計16箇所に対し、認知度、利用経験、利用希望をたずねたところ、すべての施設において、認知度が最も高く、順に希望利用、利用経験の値となりました。前回調査も同様の結果でしたが、引き続き、利用を希望する市民が利用しやすいようにサービス提供者の努力の必要性を示しています。また、市内に3箇所ある市立グラウンド（高司、売布北、花屋敷）については、市民への認知度が低い結果となりましたが、地域にある身近な施設であることから、施設のPRと魅力的な設備環境や利用方法の利便性等を整えていく必要性を示唆するものと言えます。

図2-8 宝塚市内の施設の認知度と利用希望



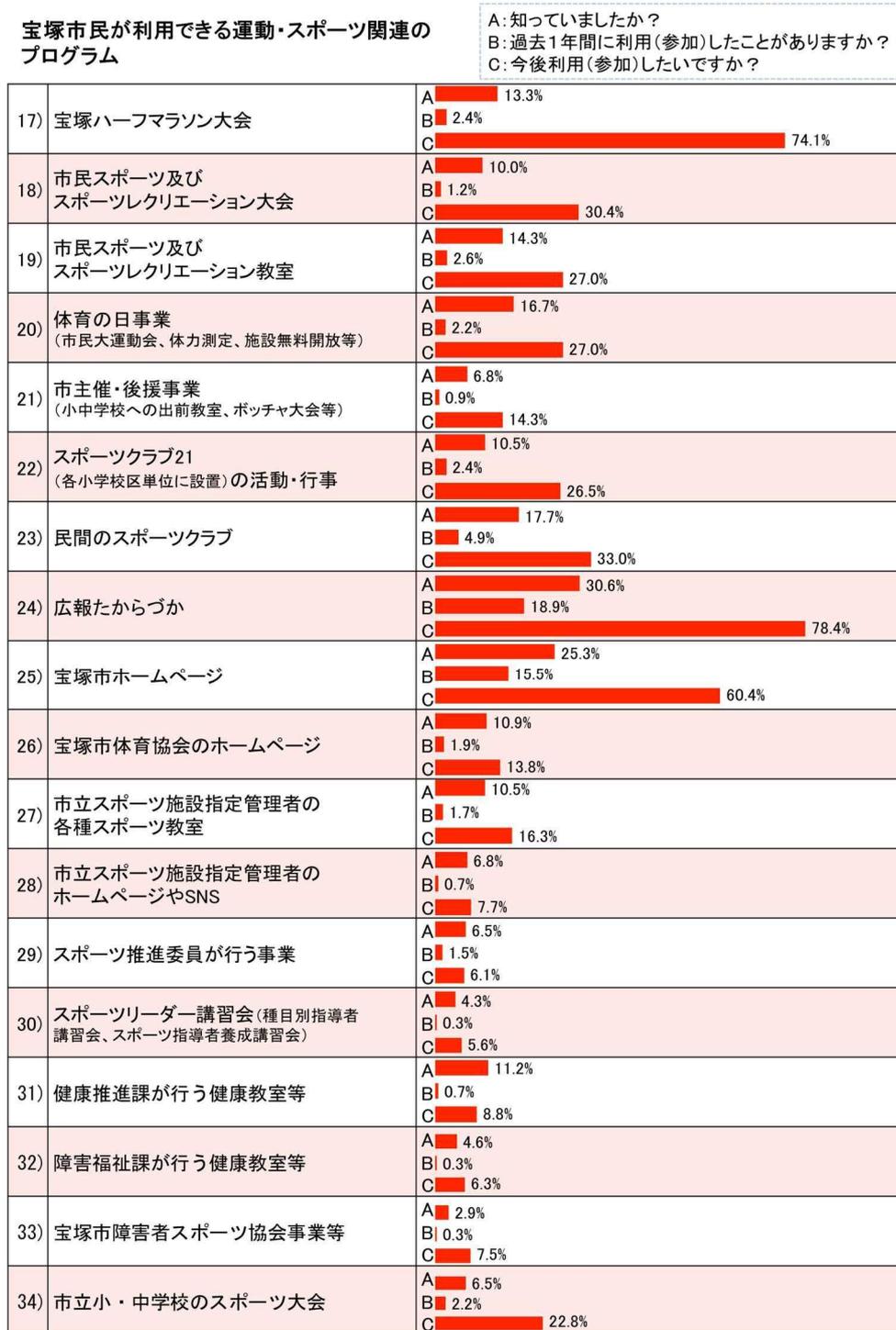
(BASE=588)

【3】市民のスポーツ実施意欲(5)

●市民の利用できる運動・スポーツプログラムについても認知度と参加率の低さが課題

宝塚市民が利用できる18種類のスポーツプログラム・機会・情報についても、前頁の施設同様、認知度が最も高く、利用希望、利用経験の順となりました。ハーフマラソンや広報、ホームページの認知率は5割を超えています。それ以外は低い認知度であり、認知度と利用希望度が同じレベルであることから、まずは認知度を高めることに注力し、参加希望者の増加を図ることで利用率の向上につながることを期待されます。

図2-9 宝塚市内の施設の認知度と利用希望



(BASE=588)

【4】市民のスポーツ推進への期待(1)

●健康・体力づくりやスポーツ行事・イベントの情報に興味があり、広報やインターネットによる情報提供に期待
 市民がスポーツに関して興味のある情報は、健康・体力づくり情報を筆頭に、行事やイベント、スポーツ教室、新しいスポーツ・気軽にできるスポーツ、施設、競技会、クラブ・同好会、医学・科学的情報、指導者の順で見られます。これらの情報を入手する方法や媒体についての希望は、市の広報が最も多く(76.4%)、次いでインターネット(40.5%)、自治会の回覧(26.1%)でした。前回調査ではインターネットが26.9%と自治会の回覧(31.5%)よりも低い希望率でしたが、この10年間で情報源の入手ツールはより手軽にいつでもアクセスできる方法にシフトしているものと推測されます。また、全市民が紙面を通じて確認できる広報に加え、最新の情報を提供できるインターネットの活用と併用により、市民が必要とする運動・スポーツ関連情報を入手しやすくしていくことが期待されます。

図2-10 運動・スポーツに関して興味のある情報(複数回答)

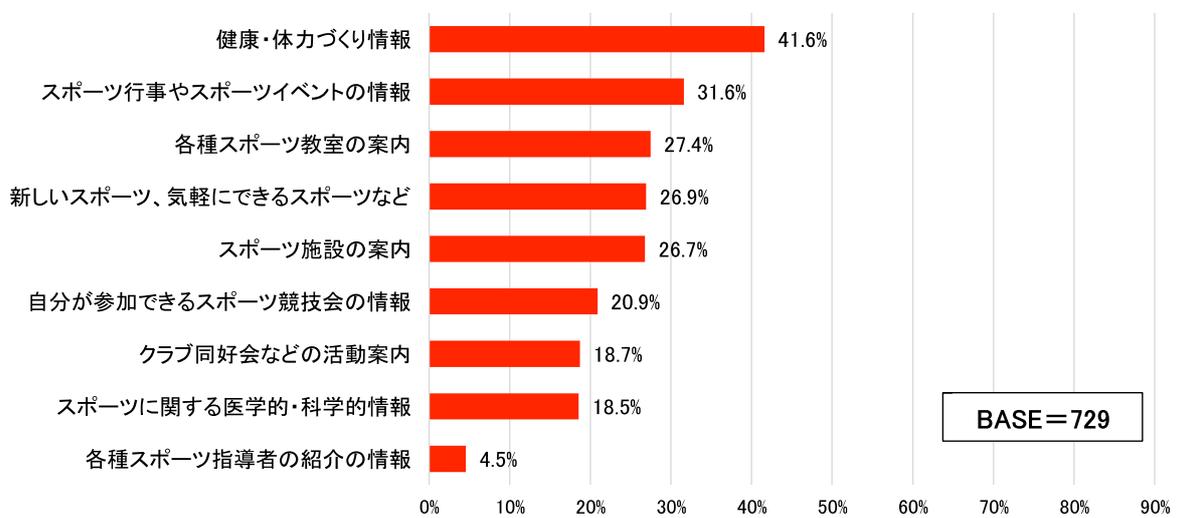
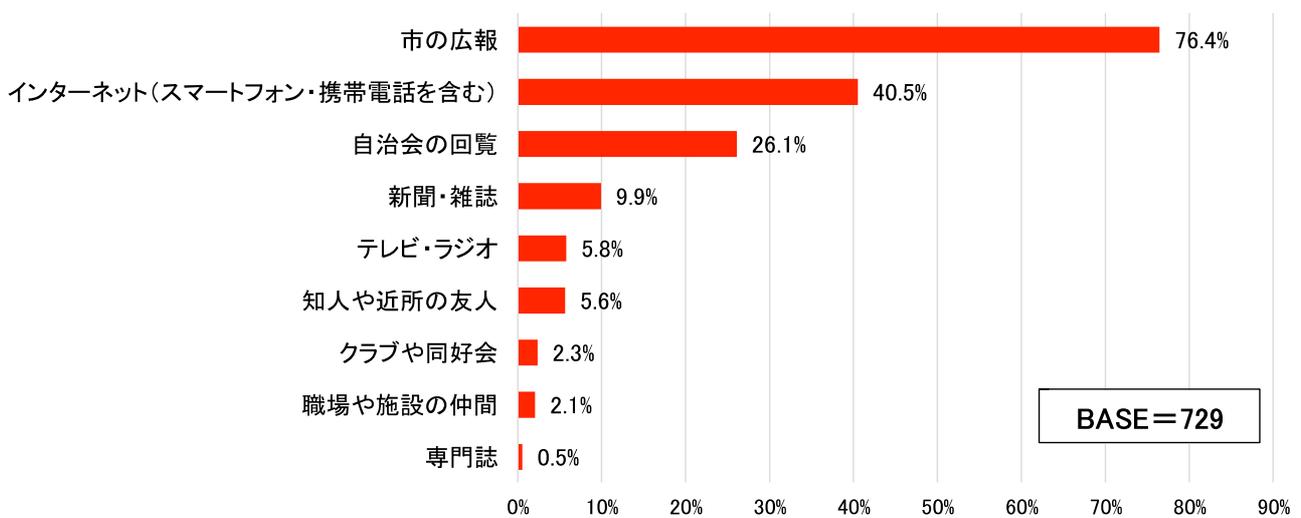


図2-11 運動・スポーツに関する情報の入手方法の希望率(複数回答)



【4】市民のスポーツ推進への期待(2)

●子どもの運動・スポーツ環境や機会の改善・整備を図ることが課題

市民が子どもの体力向上や運動時間の確保のために必要だと考えることは、安心して屋外で遊べる場所を作ることが7割に達し、一緒に遊んだり運動する仲間、屋外で遊ぶ機会や運動・スポーツ観戦の機会を作ること、遊びや運動の大切さを教え、親子でスポーツに親しむ機会や遊びや運動の方法を教えることの順で見られます。運動やスポーツを推進する担い手として期待されるのは、民間のクラブや教室が最も高く、地区や自治体、市スポーツ振興公社、市体育協会および競技団体、部活動指導員が上位5つに示されました。また、子どものスポーツ活動の推進に期待する方策として、民間指導者の登用が54.7%と最も高く、合同部活動での取り組みや地域のスポーツ団体への期待が寄せられる結果となりました。子どもの運動量が減少している今日において、運動やスポーツを気軽に行える環境や機会の充実を図る必要性を示唆するものと言えます。

図2-12 子どもの体力向上や運動時間の確保のために必要なもの

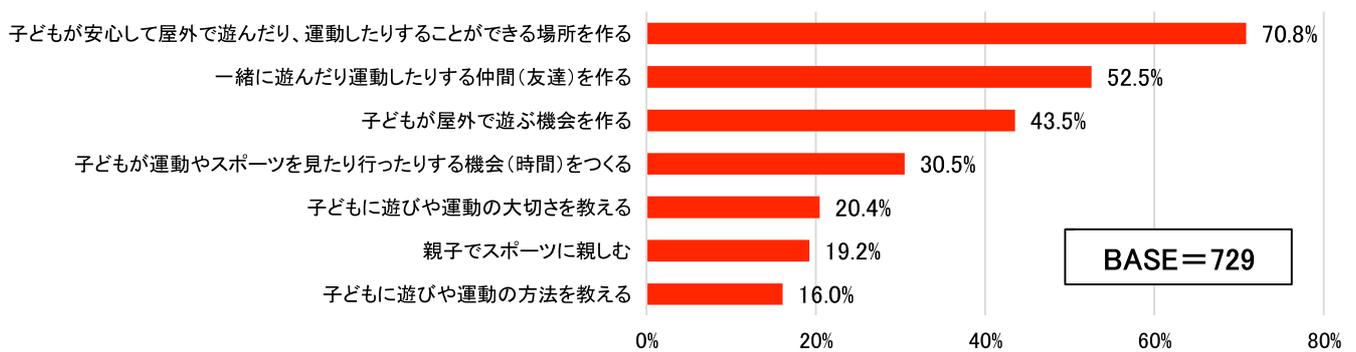


図2-13 子どもの運動やスポーツを推進する担い手として期待する個人や団体

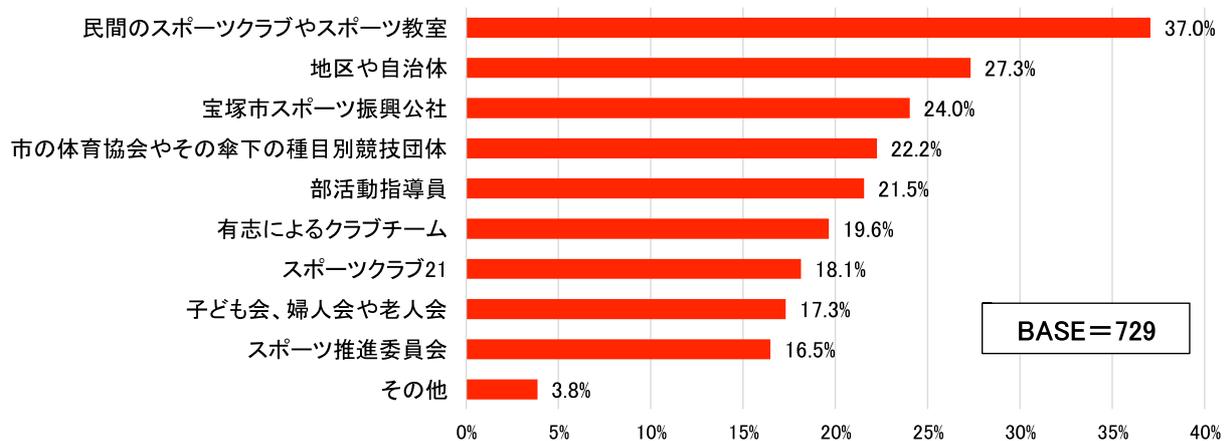
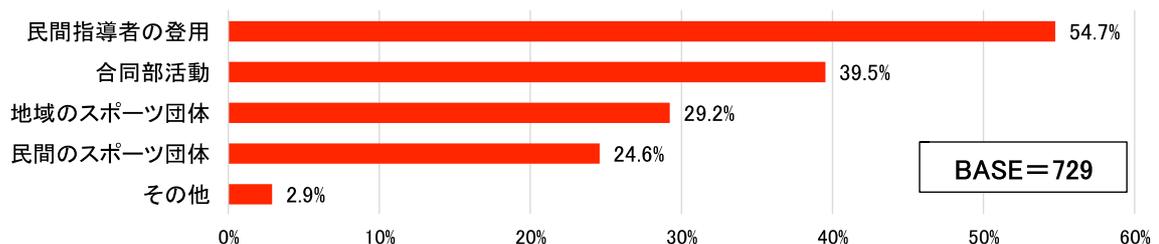


図2-14 今後子どものスポーツ活動を推進する上で期待する方策



【4】市民のスポーツ推進への期待(3)

● 障害(がい)のある人のスポーツ参加に向けた取り組みを充実させていくことに期待

過去1年間に身近な地域で、障害のある人のスポーツ活動の機会に参加したかについて回答を求めた結果、参加・観戦ともにしたことがないが最も多く(46.4%)、次いで障害者と健常者が共に参加する機会の存在を知らない(38.4%)、競技そのものに参加したことはないが会場で観戦したことがある(4.5%)、企画や運営に参加(1.9%)、競技者として参加(1.4%)していたことから、宝塚市民の障害者スポーツの認知度や参加できる機会の充実に向けた取り組みの必要性を示す結果となっています。また、障害のある人のスポーツを普及・振興するために必要だと思うことについて10の項目についてたずねたところ、すべての項目で「そう思う」「少しそう思う」の回答が6割を超えていたことから、障害のある人が気軽にスポーツに参加しやすい環境や機会を整備することが必要であることを示唆しているものと言えます。特に、障害者が利用しやすいスポーツ施設の整備については8割以上が必要だと感じていることから、身近な地域でスポーツ活動ができる場の整備が期待されます。

図2-15 障害者スポーツに関する活動への参加

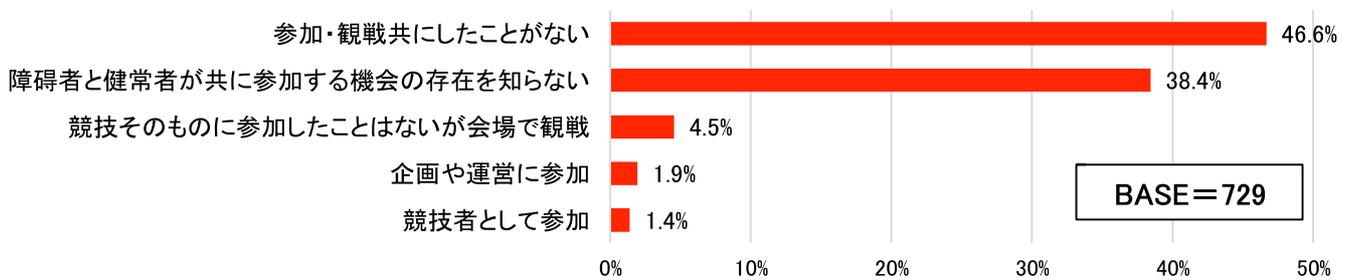
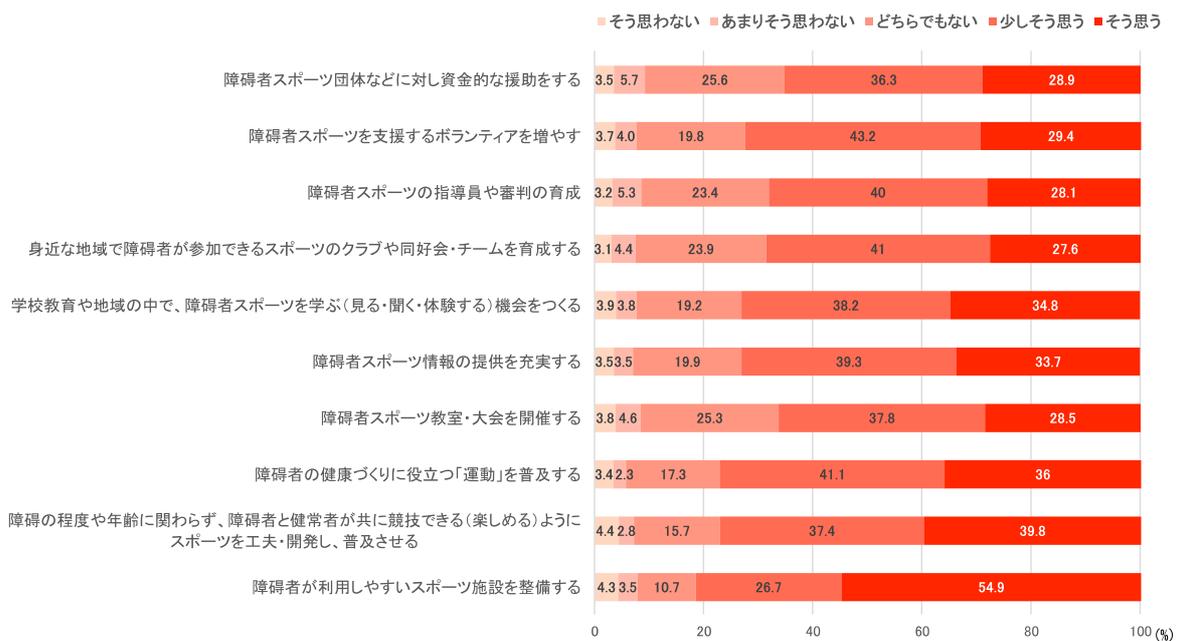


図2-16 障害者スポーツを普及・振興するために必要だと思うこと

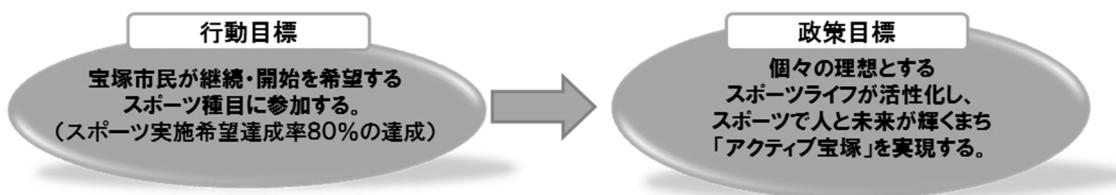


第3章 計画の政策・行動・条件目標

1. スポーツ振興計画の概要

スポーツ振興計画の策定にあたっては、市民のスポーツ参加を効果的に支援する事業を立案するために、まず、計画のゴール（政策目標）と市民にとっての理想的なスポーツ活動状況（行動目標）について将来ビジョンを検討しました。次に、目標とするスポーツ活動が促進されるための必要条件や市民のニーズを見出し（条件目標）、最後に、それらの必要条件を改善・整備することを目指した振興施策や事業を検討しました（事業目標）。この手順により、「アクティブ宝塚」は最初から事業ありきではなく、事業→条件→行動→便益というシナリオを重要視して、効果性の高い振興事業の策定に努めました。計画実施後は、予め設定したこれらのシナリオがうまく機能したかどうかを、事業目標の達成評価（マネジメント評価）、条件目標の達成評価（プロセス評価）、行動目標の達成評価（インパクト評価）、政策目標の達成評価（アウトカム評価）の観点から政策評価を行い、その成果と課題を明らかにし、今回の計画策定に還元していきました。

2. 計画の政策目標と行動目標



本計画では、前計画時における宝塚市の現状や、前章での市民意識調査の結果をふまえ、前計画に引き続き『個々の理想とするスポーツライフが活性化し、スポーツで人と未来が輝くまち「アクティブ宝塚」を実現する。』というゴールを政策目標として掲げます。その実現を目指すために、「宝塚市民が継続・開始を希望するスポーツ種目に参加する。」という市民の行動目標を設定し、達成率80%の実現を目標に、個人のスポーツライフと宝塚におけるスポーツ文化の活性化を目指していきます。

3. 行動目標達成のためのニーズ目標

行動目標を実現するために、それに対応した条件目標（サポートニーズ）を4つ掲げます。行いたい種目を実施するには、1）主体者自身の資源（意識高揚や身体・時間的条件）、2）施設、設備、用具サービス等の環境的・施設的条件（モノ）、3）プログラム、イベント、情報等の機会的・経験的条件（コト）、4）仲間、指導者、組織等の人的・組織的条件（ヒト）に対する支援が必要であり、前計画に引き続き本計画においても各種事業を立案・改定しました。

第4章 計画の事業目標

施策1 運動・スポーツのできる環境の整備・促進

事業1-1 スポーツ施設保全計画に基づく整備

目的 スポーツ施設を快適に利用できるよう整備を進めます。

■保全計画に基づく施設の設備

施設を長期間良好に保つため、スポーツ施設保全計画に基づき整備を進めます。



市立スポーツセンター



市立売布北グラウンド

事業1-2 スポーツ施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザインに基づく施設整備

目的 すべての人にとって利用しやすい施設となるよう整備します。

■バリアフリー化の実施

スポーツ施設のバリアフリー化の未実施箇所について、計画的に改善していきます。

■ユニバーサルデザイン*についての調査研究

スポーツ施設におけるユニバーサルデザインについて調査研究を行います。

■ユニバーサルデザインの実現

調査研究の結果に基づき、すべての人が利用しやすいスポーツ施設にするための整備を進めます。



ニュースポーツ体験会（スポーツセンター）



市立高司グラウンド

*ユニバーサルデザイン：「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などにかかわらず、できるだけ多くの人にわかりやすく、最初からできるだけ多くの人利用可能であるようにデザインすること。

事業1-3 スポーツ施設利用者サービスの向上

目的 利用者満足度を高められるようサービスの向上を図ります。

■利用時間・利用可能種目の見直し

利用者のスポーツ環境の充実のため、利用時間や利用可能種目などを見直します。

利用時間延長により施設の更なる利活用を図るため、夜間照明の設置を検討します。

■利用者への特典の見直し

利用者サービス向上のため、教室受講者への特典を検討します。

■施設利用に関する情報発信

ホームページやSNS等を利用して、イベント・教室の開催案内などタイムリーな情報提供を積極的に行います。

■高齢者、障害（がい）者のスポーツ施設利用の促進

高齢者に対する屋内・屋外プールの利用料減免、障害（がい）者に対する屋内・屋外プールや駐車場の利用料減免を今後も継続します。

障害（がい）者団体の公的な利用等、特に必要があると認められる場合についての優先使用を継続します。

事業1-4 学校体育施設の開放

目的 身近で運動・スポーツが楽しめるようにするとともに、市民が交流できるよう学校施設を開放します。

■小学校・中学校体育施設の開放

小学校・中学校の体育施設を社会体育団体の使用に開放します。

新規団体が参加しやすい仕組みや効率的な運営を検討するとともに、受益者負担の適正化のための使用料徴収や夜間照明の設置等について調査研究します。



学校体育施設開放事業

事業1-5 既設公園整備事業

目的 運動・スポーツが楽しめる環境を整備します。

■武庫川河川敷の整備

軽スポーツのできる公園として利活用を促進します。

■北中山公園の整備

ハイキングやバードウォッチングが可能な公園として利活用を促進します。

■既設公園の整備

公園を安全・安心に利用してもらうため老朽化した遊具等の更新を順次行います。また、開発による提供公園について、広場の確保、安全な遊具の設置を要望します。

事業1-6 ライフスタイル別、目的別スポーツプログラムの開発

目的 生涯スポーツ時代にあった各種プログラムを作成することにより、市民スポーツ振興、体力向上、健康増進を推進します。

■スポーツプログラムの研究・作成

大学や専門機関などと連携して、スポーツ・レクリエーションプログラムや体力向上プログラム等の研究を行います。

■スポーツプログラムのモデル事業化

作成したプログラムをモデル事業化するとともに、各種教室に対しプログラムの普及を図ります。

事業1-7 新しい生活様式におけるスポーツ環境づくり

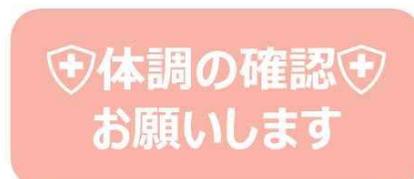
目的 感染症予防に留意した安全安心なスポーツ環境づくりに取り組みます。

■新しい生活様式におけるスポーツ環境の整備

スポーツ環境において、様々な種目や状態に配慮して安全安心に行える整備と情報提供を行います。

■新しい生活様式におけるスポーツ大会・教室の実施

スポーツを安全安心に行える運営・開催ガイドラインを徹底したうえでの実施ならび実施補助を行います。



普段と異変はありませんか？ せき・息苦しさはありませんか？
少しでも異変がある場合は施設利用を控えましょう。

新型コロナウイルスの初期症状は様々です！
※次の症状のうち、2つ以上の症状があると感染している可能性があります。
発熱・寒気・悪寒・筋肉痛・頭痛・のどの痛み・味覚または嗅覚の異常
発熱名〇〇

施策2 子どものスポーツ環境・機会の充実

事業2-1 スポーツ少年団への支援

目的 ユーススポーツ*の振興と子どもの体力の向上を図ります。

■スポーツ少年団への加入促進

少年スポーツ大会の開催などによる活動の活性化や、活動のPRなどにより加入の促進を図ります。

事業2-2 少年向け大会、教室の開催

目的 ユーススポーツの振興と子どもの体力、少年へのスポーツ機会の提供と技術力の向上を図ります。

■幼児・児童・生徒を対象としたスポーツ大会・教室などの開催

親子で参加できる運動・スポーツ教室や子どもを対象としたスポーツ大会・教室などを開催し、スポーツに親しめる機会を提供します。

事業2-3 指導体制の充実

目的 スポーツ競技力の向上を図ります。

■指導者の育成

ジュニア期の競技力向上のため、指導者講習会を開催し、指導力のレベルアップに取り組みます。



*ユーススポーツ：未成年世代のスポーツ

事業2-4 地域の運動・スポーツ活動への指導員の派遣

目的 ユーススポーツの振興と子どもの体力の向上を図ります。

■地域への指導員派遣

まちづくり協議会、地域児童育成会、児童センター・児童館・スポーツクラブ 21*などにおける子ども対象の運動・スポーツ活動の機会の創設を進めます。

事業2-5 学校での体力向上の取り組み

目的 全国体力・運動能力調査の成果を検証し、小中学生の体力向上に貢献します。

■全国体力・運動能力調査の実施

全国体力・運動能力調査を全校で実施し、調査結果を分析します。また、小学校・中学校との連携も視野に入れながら、「宝塚市体力向上プログラム」等を活用し児童生徒の体力向上に努めます。

事業2-6 学校部活動への支援

目的 小中学生の体力向上と競技力の向上を図ります。

■部活動の活性化

一部の部活動においては市民が指導者（顧問）と協力して部活動が実施されています。スポーツクラブ 21 等との連携による部活動の活性化について検討します。

事業2-7 家族で取り組む体力づくりの推進

目的 ユーススポーツの振興と子どもの体力づくりに貢献します。

■親子でできる運動・スポーツの推進

スポーツ推進委員の活動、ふれあいスポーツ教室や宝塚ハーフマラソン大会などの機会を通じて、親子でできる運動・スポーツの普及に努めます。



宝塚ハーフマラソン大会



ふれあいスポーツ教室

スポーツクラブ 21：県下の小学校区ごとに設置される地域スポーツクラブのことで、スポーツ活動を通して、地域住民の健康増進と地域の活性化及び青少年の健全育成を図ることを目的に、平成12年度より兵庫県内各小学校区で実施されている事業。

施策3 健康づくりの推進

事業3-1 体力測定の実施

目的 市民の健康・体力づくりへの自覚と関心を深めてもらいます。

■ スポーツの日における体力測定の実施

スポーツの日事業として文部科学省が実施する新体力テスト6種目を実施します。

受検者に現在の自己の体力状況を知ってもらうとともに、昨年受検した市民にはその推移を見ってもらうことにより健康、体力づくりへの関心を高めます。当日の運営については、スポーツ推進委員が測定員となり、受検者の中で希望者には日常できる運動実践方法をその人にあった内容で指導をします。

■ 出前体力測定会の実施の検討

スポーツ推進委員会の協力を得て、市内各地域に出向き出前体力測定会の実施を検討します。



体力測定

事業3-2 スポーツ健康手帳の作成・配布

目的 スポーツ健康手帳を作成配布することにより、市民の健康づくりを推進します。

■ 体力向上プログラムの開発

大学等専門機関との連携により、成人向けのプログラムの開発を行います。また、各種教室の中にプログラムを取り入れることを研究します。

■ スポーツ健康手帳の作成・配布

開発されたプログラムを手帳として作成し、スポーツクラブ 21 等各種団体に配布するとともにインターネットを通して配信します。

事業3-3 ラジオ体操・宝塚アトム体操*の展開

目的 ラジオ体操・宝塚アトム体操を全市的に展開することにより、市民の健康づくりを推進します。

■ラジオ体操モデル地区の設定

ラジオ体操・宝塚アトム体操のモデル地区を設定し、事業のノウハウを研究・検討します。

■ラジオ体操・宝塚アトム体操の全市展開

スポーツクラブ 21 やまちづくり協議会などに働きかけ、ラジオ体操・宝塚アトム体操の全市への展開を行います。

事業3-4 特定健診・特定保健指導

目的 内臓脂肪症候群に着目した健診を実施し、その結果に基づき生活習慣病の改善を促すための保健指導を行うことにより、糖尿病の生活習慣病を予防します。

■特定健康調査の実施

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、保険者に義務付けられている健康診査を実施します。

■特定保健指導の実施

特定健康診査の結果より、「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、抽出された対象者に、運動や食事などの生活習慣の改善を行うための保健指導を実施します。

事業3-5 地域版 健康づくり教室

目的 地域住民が参加しやすい場所で、市職員による健康づくりの取り組みを学習します。

■運動をはじめ健康づくりのメニュー化

地域で取り組む健康づくりをメニュー化しており、転倒予防、親子体操、宝塚こつこつ体操など乳幼児から高齢者まで、まちづくり協議会など地域からの要望に対して運動指導員等を派遣し、指導します。

事業3-6 スポーツ機会の提供（高齢者）

目的 高齢者スポーツの振興を図ります。

■高齢者向けスポーツ教室の実施

高齢者向けの各種スポーツ教室を実施します。

宝塚アトム体操：健康で明るく元気に生活をしていただきたいという思いで宝塚市体育指導委員会（現在のスポーツ推進委員会）が考案した。鉄腕アトムのメロディーに乗せて、深呼吸や体を大きく旋回させる運動など、色々な部位を使う体操を盛り込み、年齢を問わず、立っても座っても軽快に楽しく行える体操です。宝塚市民の健康維持・増進に役立てることを目指しています。

施策4 障害（がい）のある人のスポーツ参加

事業4-1 障害（がい）者のスポーツ拠点の検討

目的 障害（がい）者スポーツの振興を図ります。

■スポーツ拠点の検討

既存の公共施設についてスポーツ拠点としての整備が可能か検討するとともに、他市の専用施設や民間スポーツ施設と連携をとり、スポーツの場の確保に取り組みます。

事業4-2 障害（がい）者向けスポーツ教室の実施

目的 障害（がい）者スポーツの振興を図ります。

■スポーツ教室の開催

心身障害（がい）者水泳教室など障害（がい）児（者）向けの教室を開催し、スポーツの機会を提供します。

事業4-3 知的障害（がい）（児）者親子体操教室の実施

目的 障害（がい）者社会学級の一環として、機能障害の回復や集団活動などによる社会参加、そして様々なスポーツ体験活動の機会を提供します。

■知的障害（がい）（児）者親子体操教室の実施

スポーツ推進委員等の作成するプログラムを、その指導のもとに（社）宝塚市手をつなぐ育成会の協力を得ながら、知的障害（がい）（児）者及びその保護者の参加による親子体操教室を実施します。

事業4-4 宝塚市障害（がい）者社会学級事業

目的 障害（がい）者が運動・スポーツを楽しみながら、健康づくりの機会の提供に努めます。

■障害（がい）者への軽スポーツの実施

障害（がい）者社会学級の講座の中に、それぞれの障害（がい）（聴覚・言語・視覚）や年齢に応じたスポーツ講座を取り入れ、楽しみながら健康増進を図り、障害（がい）者の生きがいづくりを支援します。

事業4-5 障害（がい）者運動会の開催

目的 障害（がい）のある人の健康の増進や社会参加等を図るため、障害（がい）者運動会を開催します。

■障害（がい）者運動会の開催

スポーツセンター体育館等を利用して、障害（がい）特性に配慮しながら、車いす走、音響競走等の競技による障害（がい）者運動会を開催します。運営に際し福祉施設や障害（がい）者団体の代表者による実行委員会を組織し、プログラムの作成、会場設営、競技進行を行います。

障害（がい）者運動会を通じて、障害（がい）のある人の体力増強、社会参加、交流、余暇等に資するとともに、障害（がい）者スポーツの普及を図ります。

事業4-6 指導者の確保と活用

目的 障害（がい）者スポーツの振興を図ります。

■障害（がい）者のスポーツ指導者の確保と活用

現在実施中の障害（がい）者向け各種教室の指導者等関係者の組織化を図るとともに、ひょうご障害者スポーツ指導者協議会と連携し、その活用を図ります。



ふれあいスポーツ教室等

施策5 表彰制度の充実

事業5-1 市民スポーツ賞の充実

目的 制度を充実し、より広い分野で表彰することにより市民のスポーツに対する意識の向上を図ります。

■優秀スポーツ者の表彰

スポーツ競技において、特に優秀な成績を収めた者に対して表彰を行います。

■スポーツ功労者の表彰

スポーツの分野で市民の模範として活躍している功労者に対して、その功績を讃え、表彰を行います。

■新たな表彰についての検討

ユニークな活動を行っている団体への表彰など、新たな表彰について検討し、実施します。

事業5-2 小中学生表彰の充実

目的 文化・スポーツに対する意識の向上を図ります。

■全国大会へ出場した児童生徒の表彰

文化・スポーツ活動に対する意識の向上を図るため、全国大会に出場した児童生徒を表彰するとともに記念品を贈呈します。

■社会体育で優秀な成績を収めた小中学生の表彰

上記大会以外の全国大会等での成績優秀者の表彰を行います。

施策6 スポーツの総合的な情報の発信

事業6-1 ホームページ等の活用

目的 スポーツに関する総合的な情報を提供することにより、スポーツの振興を図ります。

■スポーツ・健康情報の提供

ホームページを充実し、各種大会や教室の開催情報、スポーツ施設や貸し出し用具の情報、スポーツ科学の情報、幼児の遊び情報のほか、健康・食育・体力向上プラン等、家族で体力づくりに取り組む上で活かせる情報など、総合的な情報を提供します。また、健康・スポーツに関するデータを収集・分析して提供します。

■市民参加による情報の提供

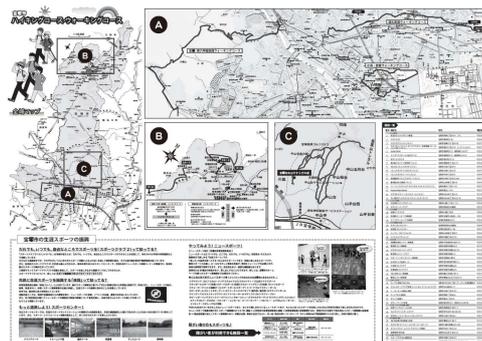
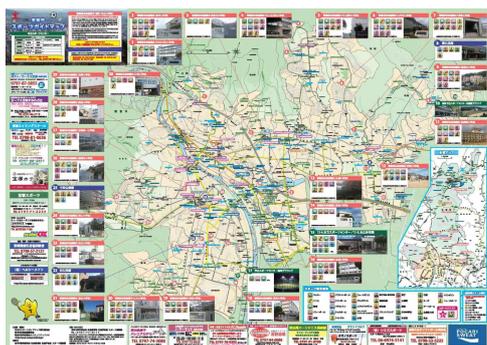
市民から散歩やウォーキングのコース、誰でも参加できるスポーツ・運動のイベントなどの情報の提供を受けるほか、イベント参加者からの投稿等を紹介します。

事業6-2 スポーツガイドマップの作成

目的 スポーツガイドマップにより市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に身体を動かせるようにします。

■スポーツガイドマップの作成

市内スポーツ関連の公共施設、公園、学校スポーツ施設等を掲載した「総合型のマップ」を作成します。



事業6-3 スポーツライブラリーの充実

目的 図書を通じてスポーツへの関心を高めます。

■スポーツライブラリーの充実

スポーツ関係図書について、既定の予算の範囲内で更新、購入等を行います。

施策7 スポーツイベントの開催

事業7-1 スポーツ大会・教室の開催

目的 スポーツの機会を提供し、技術・健康のレベルアップや市民交流の推進を図ります。

■市民大会等スポーツ大会の開催

市民スポーツ大会、少年スポーツ大会などの各種大会を関係団体と協働して開催します。

■市民スポーツ教室等の各種大会の開催

水泳、武道、体操等の教室を関係団体と協働して開催します。開催種目は市民ニーズや本市で推進すべき種目も考慮し随時見直しを図ります。

■宝塚ハーフマラソン大会の開催

全国からの参加者とともに楽しみ、個人・親子で運動・スポーツを楽しむ機会を提供します。

■各種健康・スポーツ教室の開催

スポーツの振興、健康の維持増進のため、各種教室を開催し、教室プログラムを充実させます。プログラムは市民ニーズを見ながら随時見直しを図っていきます。

事業7-2 スポーツの日事業

目的 スポーツに取り組む機会を提供するとともに、スポーツ施設をPRします。

■各種教室やイベントの開催、施設の無料開放の実施

市民がスポーツに取り組む機会を増やすため、スポーツの日に各種教室やイベントを開催するとともに、施設の無料開放等の事業を実施します。

■宝塚市民大運動会の実施

スポーツの日に、市民誰でも参加できるイベント（宝塚市民大運動会）を実施します。



宝塚市民大運動会

事業7-3 スポーツチャレンジDAYの開催

目的 スポーツに取り組む機会を提供し、健康づくりに寄与します。

■宝塚版スポーツチャレンジDAYの開催

スポーツチャレンジDAY*の宝塚版として、スポーツクラブ21 対抗スポーツチャレンジDAY 開催実施について調査研究します。

*スポーツチャレンジDAY：毎年5月の最終水曜日に、15分間以上継続して運動やスポーツをした人の「参加率（%）」を自治体間で競うイベントです。

事業7-4 スポーツ交流大会の推進

目的 スポーツ交流を通してスポーツの振興と交流の促進を図ります。

■姉妹都市松江市とのスポーツ交流会の開催

少年スポーツ及び生涯スポーツの交流会を実施し、姉妹都市との交流を深めるとともにスポーツの振興を図ります。

■外国人とのスポーツ交流

スポーツ団体や国際交流協会などと連携して、外国人とともにスポーツに親しめる機会や交流の促進について調査研究します。



松江市・宝塚市スポーツ交流会



外国人とのスポーツ交流

事業7-5 全国大会等の開催・誘致

目的 スポーツへの関心を高め、スポーツの振興を図ります。

■ワールドマスターズゲームズ 2021 関西ペタンク大会の開催

令和4年(2022年)にワールドマスターズゲームズが関西で開催されます。オープン競技として宝塚市で開催されるペタンク大会のPR活動を通じて、ワールドマスターズゲームズへの参加を促し、スポーツへの機運醸成を図ります。

事業7-6 民間スポーツクラブとのタイアップ事業

目的 スポーツに取り組む機会を提供し、健康づくりを進めます。

■民間スポーツクラブとタイアップした事業の実施

市内のスポーツクラブとタイアップして、市民の健康づくりに資する共同事業を検討します。

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西：ワールドマスターズゲームズは、国際マスターズゲームズ協会(IMGA)が4年ごとに主宰する、概ね30歳以上であれば、スポーツ経験や実績、障がいの有無を問わず誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会です。
オリンピックの翌年に開催され、第10回を関西各地で行われます。

事業7-7 ニーズ種目対応イベントの開催

目的 市民ニーズの高いスポーツ種目を中心としたイベントを開催し、実施希望種目を楽しむ機会を提供します。

■ニーズ種目対応イベントの開催

市民意識調査で明らかとなった今後行ってみたいスポーツ種目の上位 20 種目（ウォーキング、散歩、ストレッチ、体操、ハイキング、筋力トレーニング、ヨガ、水泳、登山、ジョギング・ランニング、キャンプ、釣り、サイクリング、アクアビクス、スキー、ゴルフ、テニス、卓球、ボウリング、バドミントン、ピラティス）を中心に、種目ごとに体験イベントの開催やマップづくり、講師派遣等ホームページに掲載してニーズの実現を支援します。

事業7-8 アスリートと接する機会の創出

目的 トップアスリートと接することでスポーツを楽しむとともに、スポーツを行う動機付けを高めます。

■スポーツ体験会・講習会・講演会の開催

様々な団体と連携し、トップアスリートを迎えての体験会・講習会・講演会を開催します。



プロスポーツ選手交流事業（出前教室）

事業7-9 スポーツ市民DAYの開催

目的 トップアスリートの高い技術を見る機会を提供することにより、スポーツを楽しむとともにスポーツを行うモチベーションを高めます。

■スポーツ市民DAYの開催

様々な団体と連携し、市民がトップアスリートの試合を観戦できる機会の創出に努めます。

■市内スポーツ施設におけるプロスポーツ観戦

普段利用する身近な施設において、プロスポーツを観戦できる機会の創出に努めます。

施策 8 スポーツ推進委員の育成支援と活用

事業 8-1 スポーツ推進委員*の育成と支援

目的 スポーツ推進委員の育成と活動を支援し、スポーツの普及・振興に寄与します。

■スポーツ推進委員実技研修会の開催

各種ニュースポーツを中心に競技と進行方法・審判法の研修会を開催します。研修内容は、競技スポーツやクラブマネージメントなどについても必要に応じて実施し、委員のレベルアップを図ります。

■機関紙の発行

スポーツ推進委員会だより「みんなげんき！」を発行し、市内のスポーツクラブ 21、小学校、公共施設、近隣スポーツ推進委員会等に配布します。

■運動・スポーツ指導

スポーツクラブ 21 の運営や活動の指導を行うとともに、市やスポーツ推進委員会の主催事業、市民の自主的事業において運動・スポーツの指導を行います。

事業 8-2 宝塚アトム体操の普及

目的 スポーツ推進委員を活用し、健康の保持増進を図ります。

■宝塚アトム体操の普及

各種イベント（市民大会、地域運動会など）において、参加者を対象に準備運動として宝塚アトム体操を指導実施します。

また、健康・スポーツに関する各種研究会等で「宝塚アトム体操」の発表を積極的に行います。
(宝塚アトム体操について)

スポーツ実施前の準備運動として、スポーツ推進委員会が考案した体操で、「鉄腕アトム」の曲にあわせ子どもから高齢者まで行える体操です。



アトム体操



スポーツ推進委員：当該市町村のスポーツ推進のために、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに、住民に対する、スポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う非常勤職員です。

施策 9 スポーツクラブ 21 の活性化

事業 9-1 スポーツクラブ 21 の運営支援

目的 スポーツクラブ 21 の自主運営に向けて支援を行います。

■活動拠点の整備

活動拠点が未整備なクラブが約半数あり、今後校舎・体育館の建替時あるいは空き教室がある場合には、クラブハウスの新設・改修ができるよう協議を進めます。

■自主財源の確保①

自主財源確保の要は会費であり、会費の値上げが緊急課題です。そのためには、会費の理解が不可欠であり、会費に対する情報提供、説明が必要となります。スポーツクラブ 21 たからづか連絡協議会での重要課題と位置づけ、協議を進めていきます。また、市広報等でスポーツクラブ 21 の活動情報を定期的に掲載し、会員確保を支援します。

■自主財源の確保②

会費以外の自主財源について、先進事例の情報をスポーツクラブ 21 たからづか連絡協議会で提供し、協議を進めていきます。また、現在小学校で市が委託している学校開放事業をスポーツクラブ 21 で委託できないか検討します。

■クラブマネージメントの推進

スポーツクラブ 21 の運営には運営スタッフの確保は欠かせません。クラブマネージメント研修会への参加を推進し、クラブマネージャーの設置、育成を図っていきます。

■スポーツクラブ 21 の今後の方向の決定

スポーツ推進審議会やスポーツクラブ 21 たからづか連絡協議会等において、スポーツクラブ 21 の運営及び活性化の方策や今後のスポーツクラブ 21 の進むべき方向について検討します。

事業 9-2 スポーツクラブ 21 の交流促進と他団体とのネットワークづくり

目的 ネットワークを広げることにより、スポーツクラブ 21 の運営・活動を支援します。

■交流大会の実施

スポーツクラブ 21 たからづか連絡協議会主催の交流大会をより充実させ、会員相互の交流を深めるとともに、ホームページ、市広報で情報を発信することにより、会員の確保を図ります。

■各種団体との連携

自治会、まちづくり協議会、中・高齢者の健康づくり団体、公民館グループ等との連携について検討し、人的交流・情報交換を図ります。

■社会体育施設登録団体との共同

社会体育施設登録団体とのスポーツ、レクリエーション等の共同事業の実施を検討し、交流を図ります。また、登録団体とスポーツクラブ 21 の統合を目指します。

事業9-3 スポーツクラブ21の活動支援

目的 スポーツクラブ21の活動を支援し、活性化を図ります。

■活動プログラムの開発

人気種目の教室の開催や無料体験など、新規に参加しやすいプログラムを開発し、会員の増加に繋がります。

■スポーツ推進委員との連携強化

地域に密着したスポーツ活動を展開し活性化を図るには、スポーツ推進委員の協力が必要であり、当該スポーツクラブ21の校区内からスポーツ推進委員を選出するよう努めます。

■複数クラブの共同事業化

近隣の複数のクラブにおいて、様々な種目を共同事業化することで活性化を図ります。

施策10 スポーツ関連団体の育成と連携強化

事業10-1 スポーツ関連団体の育成支援と連携強化

目的 スポーツ団体を育成支援し、スポーツの振興を図ります。

■体育協会の育成支援と連携強化

体育協会への運営補助を行うとともに連携の強化を図り、より一層市民スポーツの振興の中心的役割を果たすよう支援します。また、ニュースポーツを含めた未組織スポーツ種目の協会設立の促進と体育協会への加盟を進めます。

■スポーツ関連団体と連携強化

市内スポーツ関連団体との連携・情報共有を図り、より多くの市民がスポーツへの参加ができるように支援します。

第5章 計画の全体像と評価計画

1. 計画の全体像

これまで述べてきた政策目標、行動目標、条件目標、事業目標の各関係を示す計画の全体像を、36頁の「アクティブ宝塚」全体概要に示しました。図中の矢印は、各施策が特にどのような改善（住民のサポートニーズ）に作用し、宝塚市民のスポーツ実施ニーズを実現していくかという予想シナリオを表しています。46の個別事業から構成されている計10のスポーツ振興施策を掲げ、これらを今後10年間積極的に推進していきます。

2. 評価計画（縦断的評価）

計画実施後に、中間評価と最終評価を実施します。いずれも、予め設定したシナリオがうまく機能したかどうかを、事業目標（マネジメント評価）、条件目標（プロセス評価）、行動目標（インパクト評価）、政策目標（アウトカム評価）の達成度の観点から政策評価を行っていきます。これまでの政策評価では、事業の影響度や成果を実証することが困難でしたが、「アクティブ宝塚」では、計画策定時に実施した市民意識調査の対象者に対して、再調査への協力を依頼し、実施された事業の評価とともに、自己のスポーツ活動に関するニーズが満たされたかを評価するモニタリング調査を計画しています。このモニタリング調査を想定し、計画策定時の市民意識調査では質問項目を設定しており、これらの質問項目の分析により、効果の度合いとその理由を確かめることが可能となり、計画の修正や次回の計画策定に還元していくことができます。

また、「第6次宝塚市総合計画」の子ども・教育の部門計画として位置づけ、「宝塚市教育振興基本計画」などの関連計画と整合性を図りながら推進していきます。

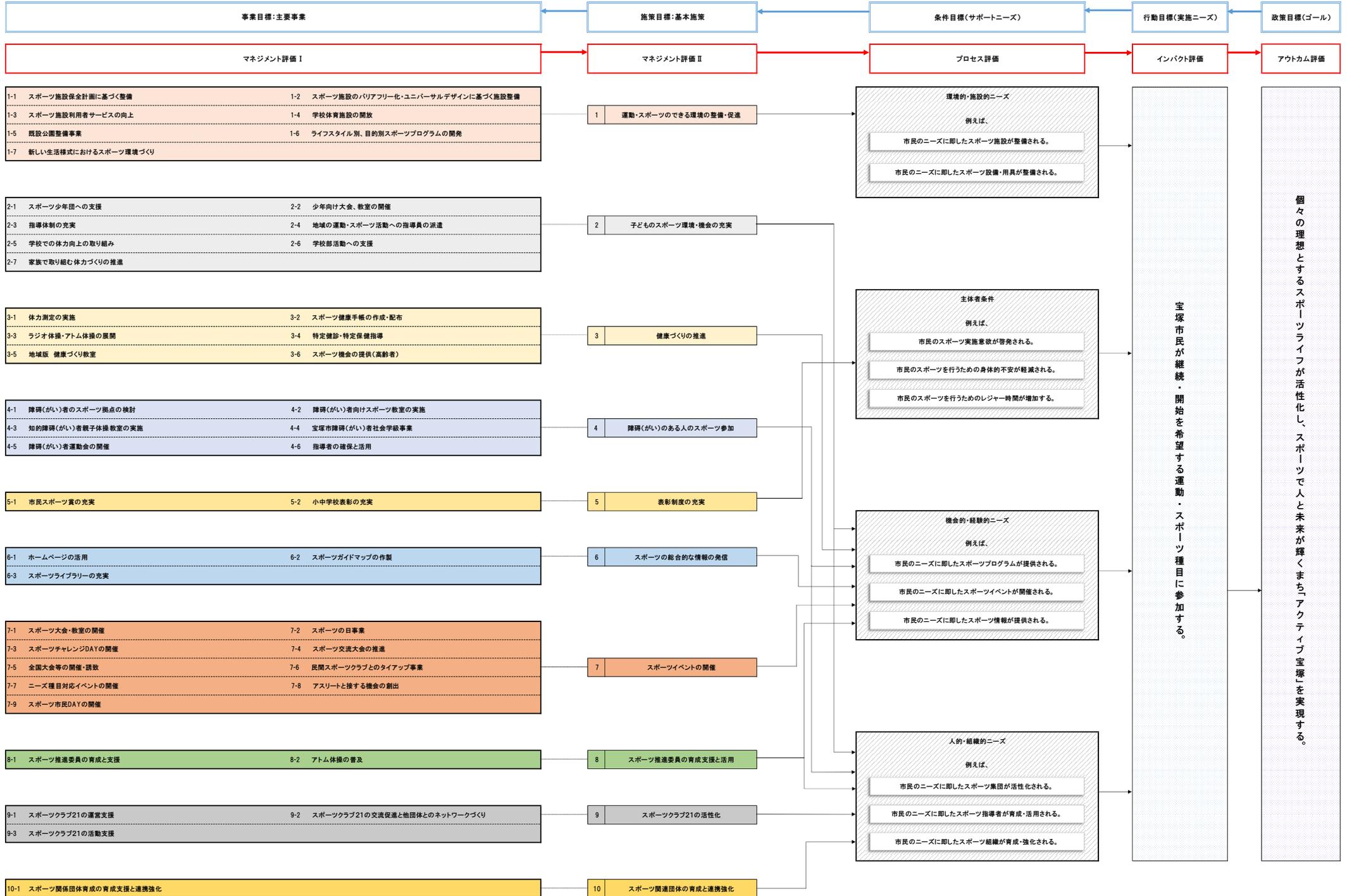
3. 評価計画（横断的評価）

中間評価と最終評価においては上記の縦断的評価だけでなく、新たな成人層も含めた宝塚市民を対象にスポーツ意識調査を広く実施し、国や県の行動目標であるスポーツ実施頻度レベルとともに、各種目の普及率や地域別参加率を把握しながら、より良い事業実施に向けて取り組んでいきます。

4. 「アクティブ宝塚」全体概要

次頁

「アクティブ宝塚」全体概要



資料

- 市民意識調査票…………… 38
- 宝塚市スポーツ推進審議会等名簿…………… 48
- 策定審議経過…………… 49

宝塚市民の運動・スポーツに関する意識調査

〈アンケート調査へのご協力のお願い〉

このたび、宝塚市における新スポーツ振興計画の策定にあたり、市民の皆様の運動・スポーツに関する意識や実施状況の現状を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。つきましては、運動・スポーツに関する現状を明らかにすると共に、皆様方よりスポーツ振興に対するご要望やご意見を集約し、本計画の策定に反映させて頂きたいと考えております。

調査対象者の方々は、宝塚市民の中から無作為に抽出させて頂きました。この調査は宝塚市民の運動・スポーツに関する状況を把握する目的で実施されるものですので、あなたの現在の運動能力や体カレベルなどは全く問いません。運動やスポーツを全く行なっていない方々もご回答下さいませようお願い申し上げます。

ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理しますので、個人の情報が公開されるようなことは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

皆様からのご回答をお待ちしております。

〈調査実施主体者〉 宝塚市教育委員会 社会教育部
生涯学習室 スポーツ振興課

〈ご記入にあたってのお願い〉

- 回答は郵送させて頂いた宛名のご本人がご記入下さい。その方がご自分で記入できない場合はご家族や身近な方が、ご本人の回答を代筆して下さい。
- 無回答が多くなると集計に使用できませんので、できるだけ全ての質問に回答して下さい。
- 同じような意味の質問がいくつかありますが、これは現状を正確に知るためのものですので、回答を省略したりとばさないようお願い致します。
- ご記入は、質問の番号や矢印(→)の指示にそってお願いします。
- ご記入がお済みになったら、調査票を同封の返信用封筒に入れて、

3月9日(月)までに返送してください。

(切手を貼る必要はありません)

- 記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願い致します。

〈本調査に関するお問い合わせ先（調査実施者）〉

神戸大学国際人間学部 マスターズスポーツ振興支援室（平日 10:00～18:00）

Tel & fax 078-803-7885

Mail: info@masterspromotion.com

【はじめに、運動やスポーツ活動についておたずねします。】

【問1】あなたは、過去1年間、どのような種目を行いましたか。(いくつでも○)

(※ただし、学校の体育の授業として実施したものや職業として実施したものは除きます)

【問2】(現在実施している種目も含めて)今後、行なってみたい種目はありますか。(いくつでも○)

		問1 実施種目	問2 希望種目
歩行・走行・サイクリング系	散歩(ぶらぶら歩き)	1	1
	ウォーキング	2	2
	ジョギング・ランニング	3	3
	陸上競技	4	4
	駅伝・マラソン	5	5
	サイクリング	6	6
	トライアスロン	7	7
	自転車 BMX	8	8
	スケートボード	9	9
体操・ダンス・トレーニング系	体操(軽い体操)	10	10
	ストレッチ	11	11
	体操競技(器械体操)	12	12
	エアロビックダンス	13	13
	ダンスエクササイズ	14	14
	社交ダンス	15	15
	ダンス(ヒップホップ、ジャズ等)	16	16
	ヨーガ	17	17
	ピラティス	18	18
	筋力トレーニング	19	19
球技・チームスポーツ系	重量挙げ	20	20
	なわとび	21	21
	踏み台昇降	22	22
	バレーボール	23	23
	ソフトバレーボール	24	24
	バスケットボール	25	25
	ハンドボール	26	26
	卓球	27	27
	バドミントン	28	28
	スカッシュ	29	29
	ラケットボール	30	30
	テニス(硬式テニス)	31	31
	ソフトテニス(軟式テニス)	32	32
	ラクロス	33	33
	野球(硬式野球)	34	34
	野球(軟式野球)	35	35
	キャッチボール	36	36
	ソフトボール	37	37
	サッカー	38	38
フットサル	39	39	
ラグビー	40	40	
ゴルフ(コース)	41	41	
ゴルフ(練習場)	42	42	
グラウンドゴルフ	43	43	
ゲートボール	44	44	
ボウリング	45	45	
フィールドホッケー	46	46	
アメリカンフットボール	47	47	
キンボール	48	48	
フライングディスク(アルティメット)	49	49	

		問1 実施種目	問2 希望種目
水泳系	水泳	50	50
	アクアビクス(水中運動)	51	51
マリナー・ウォーター・スポーツ系	海水浴	52	52
	サーフィン	53	53
	ヨット	54	54
	カヤック・カヌー	55	55
	ウィンドサーフィン	56	56
	スクーバダイビング	57	57
	釣り	58	58
アウトドアスポーツ系	登山	59	59
	ハイキング	60	60
	キャンプ	61	61
	乗馬	62	62
	アーチェリー	63	63
	射撃	64	64
	オリエンテーリング	65	65
	トレイルランニング	66	66
	スポーツクライミング(ボルダリング等)	67	67
	スカイスポーツ系	ハンググライダー	68
パラグライダー		69	69
スカイダイビング		70	70
ウィンタースポーツ系	スキー	71	71
	スノーボード	72	72
	アイススケート	73	73
	カーリング	74	74
武道・格闘技系	柔道	75	75
	空手	76	76
	剣道	77	77
	弓道	78	78
	太極拳	79	79
	ボクシング	80	80
	キックボクシング	81	81
	柔術	82	82
	少林寺拳法	83	83
	居合	84	84
	合気道	85	85
ゲーム・レクリエーション系	ペタンク	86	86
	ポッチャ	87	87
	ローンボウルズ	88	88
	ダーツ	89	89
	ビリヤード	90	90
	eスポーツ	91	91
上記以外の種目	その他(①)	92	92
	その他(②)	93	93
	その他(③)	94	94
	いずれもあてはまらない	95	95

【問7】運動やスポーツは、実施することを含め、様々な目的や楽しみ方で関わることができます。
あなたはどのような目的や楽しみ方で、現在、運動・スポーツに関わっていますか。下記の
項目ごとに、どの程度あてはまるか、1から4まで最も近い番号にそれぞれ○をしてください。

		全く あてはまらない	あまり あてはまらない	まあ あてはまる	かなり あてはまる
「防ぐ」ふせぐ	(例:病気や障害の予防のため)	1	2	3	4
「保つ」たもつ	(例:体重・体型の維持・改善のため)	1	2	3	4
「治す」なおす	(例:体力や機能回復のため)	1	2	3	4
「整える」ととのえる	(例:体調管理や改善のため)	1	2	3	4
「遊ぶ」あそぶ	(例:趣味や娯楽として)	1	2	3	4
「交わる」まじわる	(例:家族との交流のため)	1	2	3	4
「充たす」みたす	(例:週末の余暇の充実のため)	1	2	3	4
「巡る」めぐる	(例:旅行先でのレジャーとして)	1	2	3	4
「挑む」いどむ	(例:記録・技術への挑戦のため)	1	2	3	4
「叶える」かなえる	(例:夢や憧れの実現のため)	1	2	3	4
「磨く」みがく	(例:技術や精神力向上のため)	1	2	3	4
「競う」きそう	(例:他者との競技・競争のため)	1	2	3	4
「使う」つかう	(例:スポーツ関連用具や衣料の購買)	1	2	3	4
「食べる」たべる	(例:スポーツ関連食品・飲料の購買)	1	2	3	4
「読む」よむ	(例:印刷物や新聞での購読)	1	2	3	4
「観る」みる	(例:テレビのスポーツ視聴や直接観戦)	1	2	3	4
「育む」はぐくむ	(例:チームの世話や連絡調整)	1	2	3	4
「支える」ささえる	(例:スポーツに関するボランティア活動)	1	2	3	4
「教える」おしえる	(例:直接的なスポーツ指導や教育)	1	2	3	4
「伝える」つたえる	(例:技術や取り組む姿勢の模範指導)	1	2	3	4

【問8】下記の項目は左頁の問7と全く同じ項目です。今後、もし可能であれば、どのような目的や楽
しみ方で、運動やスポーツに関わってみたいと思いますか。「全く興味がない」から、
「かなり興味がある」の1から4までの中で、項目ごとに最も近い番号を○で囲んでください。

		全く 興味がない	あまり 興味がない	まあ 興味がある	かなり 興味がある
「防ぐ」ふせぐ	(例:病気や障害の予防のため)	1	2	3	4
「保つ」たもつ	(例:体重・体型の維持・改善のため)	1	2	3	4
「治す」なおす	(例:体力や機能回復のため)	1	2	3	4
「整える」ととのえる	(例:体調管理や改善のため)	1	2	3	4
「遊ぶ」あそぶ	(例:趣味や娯楽として)	1	2	3	4
「交わる」まじわる	(例:家族との交流のため)	1	2	3	4
「充たす」みたす	(例:週末の余暇の充実のため)	1	2	3	4
「巡る」めぐる	(例:旅行先でのレジャーとして)	1	2	3	4
「挑む」いどむ	(例:記録・技術への挑戦のため)	1	2	3	4
「叶える」かなえる	(例:夢や憧れの実現のため)	1	2	3	4
「磨く」みがく	(例:技術や精神力向上のため)	1	2	3	4
「競う」きそう	(例:他者との競技・競争のため)	1	2	3	4
「使う」つかう	(例:スポーツ関連用具や衣料の購買)	1	2	3	4
「食べる」たべる	(例:スポーツ関連食品・飲料の購買)	1	2	3	4
「読む」よむ	(例:印刷物や新聞での購読)	1	2	3	4
「観る」みる	(例:テレビのスポーツ視聴や直接観戦)	1	2	3	4
「育む」はぐくむ	(例:チームの世話や連絡調整)	1	2	3	4
「支える」ささえる	(例:スポーツに関するボランティア活動)	1	2	3	4
「教える」おしえる	(例:直接的なスポーツ指導や教育)	1	2	3	4
「伝える」つたえる	(例:技術や取り組む姿勢の模範指導)	1	2	3	4

【問9】あなたは、下記の市民スポーツのための施設やプログラムを知っていたり、過去1年間に利用・参加したことがありますか。また、今後利用・参加したいと思いますか。各施設・プログラムの質問A・B・Cの順に、「1. はい」「2. いいえ」のどちらかに○をつけて下さい。（※運動・スポーツ関連施設およびプログラムについては【別紙1】の「運動・スポーツ関連施設・プログラム一覧」をご覧ください）

	質問A		質問B		質問C	
	知っていましたか？		過去1年間に利用(参加)したことがありますか？		今後利用(参加)したいですか？	
	どちらかに○ 1. はい 2. いいえ	どちらかに○ 1. はい 2. いいえ	どちらかに○ 1. はい 2. いいえ	どちらかに○ 1. はい 2. いいえ	どちらかに○ 1. はい 2. いいえ	どちらかに○ 1. はい 2. いいえ
宝塚市民が利用できる運動・スポーツ関連施設						
1) 市立スポーツセンター (総合体育館、プール、多目的グラウンド、野球場、テニスコート)	1	2	1	2	1	2
2) 市立末広体育館	1	2	1	2	1	2
3) 市立高司グラウンド	1	2	1	2	1	2
4) 市立売布北グラウンド	1	2	1	2	1	2
5) 市立花屋敷グラウンド	1	2	1	2	1	2
6) 武庫川河川敷公園 (ジョギング、テニスコート、サッカー)	1	2	1	2	1	2
7) 市立公民館 (中央、東、西公民館) *軽運動のみ	1	2	1	2	1	2
8) 市立小学校 (体育館、運動場)	1	2	1	2	1	2
9) 市立中学校 (体育館、運動場)	1	2	1	2	1	2
10) 末広中央公園、山手台中央公園、中山中央公園、すみれガ丘公園	1	2	1	2	1	2
11) 県立宝塚西谷の森公園	1	2	1	2	1	2
12) ウォーキングマップ	1	2	1	2	1	2
13) 宝塚北中山やすらぎの道	1	2	1	2	1	2
14) 六甲縦走路	1	2	1	2	1	2
15) 福知山線廃線敷	1	2	1	2	1	2
16) 巡礼街道・清荒神・中山寺周辺	1	2	1	2	1	2
宝塚市民が利用できる運動・スポーツのプログラム						
17) 宝塚ハーフマラソン大会	1	2	1	2	1	2
18) 市民スポーツ及びスポーツレクリエーション大会	1	2	1	2	1	2
19) 市民スポーツ及びスポーツレクリエーション教室	1	2	1	2	1	2
20) 体育の日事業 (市民大運動会、体力測定、施設無料開放等)	1	2	1	2	1	2
21) 市主催・後援事業 (小中学校への出前教室、ボッチャ大会等)	1	2	1	2	1	2
22) スポーツクラブ 21 (各小学校区単位に設置) の活動・行事	1	2	1	2	1	2
23) 民間のスポーツクラブ	1	2	1	2	1	2
24) 広報たからづか	1	2	1	2	1	2
25) 宝塚市ホームページ	1	2	1	2	1	2
26) 宝塚市体育協会のホームページ	1	2	1	2	1	2
27) 市立スポーツ施設指定管理者の各種スポーツ教室	1	2	1	2	1	2
28) 市立スポーツ施設指定管理者のホームページや SNS	1	2	1	2	1	2
29) スポーツ推進委員が行う事業	1	2	1	2	1	2
30) スポーツリーダー講習会 (種目別指導者講習会、スポーツ指導者養成講習会)	1	2	1	2	1	2
31) 健康推進課が行う健康教室等	1	2	1	2	1	2
32) 障害福祉課が行う健康教室等	1	2	1	2	1	2
33) 宝塚市障害者スポーツ協会事業等	1	2	1	2	1	2
34) 市立小・中学校のスポーツ大会	1	2	1	2	1	2

【問 1 0】あなたは、宝塚市における運動・スポーツに関するどのような情報が欲しいと思いますか。
以下の中から、主なものを3つまで選んでその番号に○を付けてください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 スポーツ行事やスポーツイベントの情報 | 6 各種スポーツ指導者の紹介の情報 |
| 2 自分が参加できるスポーツ競技会の情報 | 7 クラブ同好会などの活動案内 |
| 3 各種スポーツ教室の案内 | 8 健康・体力づくり情報 |
| 4 スポーツ施設の案内 | 9 スポーツに関する医学的・科学的情報 |
| 5 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなど | 10 その他 () |

【問 1 1】問 1 0で回答された情報はどのような方法で伝わるのがよいと思いますか。以下の中から、よいと思うものを2つ選んで○を付けてください。(○は2つ)

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1 市の広報 | 6 テレビ・ラジオ |
| 2 新聞・雑誌 | 7 クラブや同好会 |
| 3 自治会の回覧 | 8 職場や施設の仲間 |
| 4 専門誌 | 9 インターネット (スマートフォン・携帯電話を含む) |
| 5 知人や近所の友人 | 10 その他 () |

【問 1 2】この1年間に、スポーツ指導や大会の運営、自身やお子さんが所属するスポーツクラブの手伝いなど運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか (○は1つだけ)

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1 日常的・定期的に行なった →問 1 3へ | 3 行っていない |
| 2 イベント・大会で不定期に行なった →問 1 3へ | 4 わからない |

問13は問12で「日常的・定期的に行なった」「イベント・大会で不定期に行なった」とお答えの方にお伺いします。

【問 1 3】そのボランティア活動は具体的にどのような内容ですか。(いくつでも○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 運動・スポーツの指導 |
| 2 スポーツの審判 |
| 3 スポーツクラブ・団体の運営や世話 |
| 4 スポーツ施設の管理の手伝い |
| 5 大会・イベント運営や世話 |
| 6 自身やお子様がお子さんが所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動 |
| 7 その他 () |
| 8 わからない |

【すべての方に、子ども(幼児期~中学生)の運動・スポーツについて、おたずねします。】

【問 1 4】子どもの体力向上や運動時間の確保のために何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 一緒に遊んだり運動したりする仲間(友達)を作る |
| 2 子どもが安心して屋外で遊んだり、運動したりすることができる場所を作る |
| 3 子どもが運動やスポーツを見たり行ったりする機会(時間)をつくる |
| 4 子どもに遊びや運動の大切さを教える |
| 5 子どもに遊びや運動の方法を教える |
| 6 子どもが屋外で遊ぶ機会を作る |
| 7 親子でスポーツに親しむ |
| 8 その他 () |

【問 1 5】学校の授業以外で、子どもの運動やスポーツを推進する担い手として期待する個人や団体を、次の中から選んでください。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 地区や自治会 | 6 スポーツ推進委員 |
| 2 子ども会、婦人会や老人会 | 7 有志によるクラブチーム |
| 3 宝塚市スポーツ振興公社 | 8 民間のスポーツクラブやスポーツ教室 |
| 4 スポーツクラブ21 | 9 部活動指導員 |
| 5 市の体育協会やその傘下の種目別競技団体 | 10 その他 () |

【問 1 6】 少子化の進行にともなう生徒数や教員数の減少が進み、地域や種目によっては、中学校における部活動の維持が次第に困難になりつつあります。このような状況のもとで、今後子どものスポーツ活動を推進する上で、あなたが期待する方策を次の中から選んでください。(○は2つまで)

- | | | |
|---|--|--|
| 1 | 複数の学校による合同での部活動を推進する | |
| 2 | 部活動の指導者として、地域や民間の指導者を積極的に登用する | |
| 3 | スポーツクラブ 2 1 やクラブチームなどの地域のスポーツ団体が、部活動の役割を担う | |
| 4 | 民間の営利・非営利のスポーツクラブや団体が、部活動の役割を担う | |
| 5 | その他 () | |

【すべての方に、障害(がい)者スポーツについて、おたずねします】

【問 1 7】 あなたは、過去 1 年間に身近な地域で、障害(がい)者スポーツに関する活動の機会に参加したことがありますか。「はい」もしくは「いいえ」のいずれかに○を付けてください。

1)	企画や運営に参加したことがある	1	はい	2	いいえ
2)	競技者(選手)として試合や体験会等に参加したことがある	1	はい	2	いいえ
3)	運動や競技そのものには参加したことはないが、会場で観戦したことはある	1	はい	2	いいえ
4)	参加・観戦共に経験したことがない	1	はい	2	いいえ
5)	障害者と健常者がともに参加したり観戦したりする機会の存在をしらない	1	はい	2	いいえ
6)	その他()	1	はい	2	いいえ

【問 1 8】 今後、障害(がい)者スポーツを普及・振興するために、あなたが必要だと思うことは何ですか。

下記の項目ごとに、どの程度思うか 1 から 5 までの中で最も近い番号を○で囲んでください。

	そう 思わない	あまり そう思わない	どちらでも ない	少し そう思う	そう思う
1) 障害者が利用しやすいスポーツ施設を整備する	1	2	3	4	5
2) 障害の程度や年齢に関わらず、障害者と健常者が共に競技できる(楽しめる)ようにスポーツを工夫・開発し、普及させる	1	2	3	4	5
3) 障害者の健康づくりに役立つ「運動」を普及する	1	2	3	4	5
4) 障害者スポーツ教室・大会を開催する	1	2	3	4	5
5) 障害者スポーツ情報の提供を充実する	1	2	3	4	5
6) 学校教育や地域の中で、障害者スポーツを学ぶ(見る・聞く・体験する)機会をつくる	1	2	3	4	5
7) 身近な地域で障害者が参加できるスポーツのクラブや同好会・チームを育成する	1	2	3	4	5
8) 障害者スポーツの指導員や審判の育成	1	2	3	4	5
9) 障害者スポーツを支援するボランティアを増やす	1	2	3	4	5
10) 障害者スポーツ団体などに対し資金的な援助をする	1	2	3	4	5
11) その他()	1	2	3	4	5

【問 1 9】 以下の設問を読んで「はい」か「いいえ」のいずれかに○を付けてください。続けて、矢印の指示に従い指定の問題に移ってください。

1) あなたはワールドマスターズゲームズ 2021 関西という大会が開催されることを知っていますか。

1 はい → 2) へ

2 いいえ → 別紙のパンフレットを読んだ後、3) にお進みください

※大会の詳細については、右記の QR コードをご覧ください→



2) 「ワールドマスターズゲームズ」という言葉を何で知りましたか。当てはまるもの全てに○を付けてください。(いくつでも○)

1	ホームページやメール	5	テレビ・ラジオ	9	チラシ・パンフレット
2	雑誌	6	新聞	10	スポーツイベント
3	講演・会議・シンポジウム	7	県や市の広報誌	11	友人・知人
4	SNS (Facebook や twitter)	8	団体・クラブの会報誌	12	その他 ()

- 3) この大会は、原則 30 歳以上（2021 年時点）であれば、誰でも大会に登録し、プレーヤーとして参加することができます。2021 年の大会参加への関心についてお選びください。（○は 1 つだけ）
また、それを選んだ理由についてお書きください。

※2021 年時点で 30 歳未満の方は、将来的な意向をお答えください。

- 1 是非とも参加してみたい 2 参加してみたいが条件次第 3 参加したいと思わない
→下記に理由を記入後、4)へ →下記に理由を記入後、4)へ →下記に理由を記入後、5)へ

その理由 →

- 4) 選手として参加する場合は、5 つの競技種目までエントリーすることができます。どの競技に参加したいですか。最も行いたい種目を下記の表より 5 つまで選び○を付けてください。（○は 5 つまで）

1	アーチェリー(インドア)	21	自転車(BMX)	41	トライアスロン(デュアスロン)
2	アーチェリー(ターゲット)	22	射撃(クレイ)	42	トライアスロン(アクアスロン)
3	インディアカ	23	射撃(ライフル)	43	ハンドボール
4	ウェイトリフティング	24	柔道	44	バスケットボール
5	オリエンテーリング(スプリント)	25	水泳(アーティスティックスイミング)	45	バドミントン
6	オリエンテーリング(フォレスト)	26	水泳(オープンウォーター)	46	バレーボール(インドア)
7	カヌー(スプリント)	27	水泳(競泳)	47	バレーボール(ビーチ)
8	カヌー(スラローム)	28	水泳(水球)	48	フライングディスク
9	カヌー(ドラゴンボート)	29	水泳(飛込)	49	ペタンク
10	カヌー(ボロ)	30	スカッシュ	50	ホッケー
11	カヌー(マラソン)	31	セーリング(ウィンドサーフィン)	51	ボウリング
12	空手道	32	セーリング(ヨット)	52	野球(硬式野球)
13	グラウンドゴルフ	33	ソフトテニス	53	野球(軟式野球)
14	ゲートボール	34	ソフトボール	54	ライフセービング
15	ゴルフ	35	卓球	55	ラグビーフットボール
16	サッカー	36	ダンススポーツ	56	陸上競技(トラック&フィールド)
17	サッカー(フットサル)	37	綱引	57	陸上競技(競歩)
18	自転車(マウンテンバイク)	38	テコンドー	58	陸上競技(10kmロードレース)
19	自転車(トラック)	39	テニス	59	陸上競技(ハーフマラソン)
20	自転車(ロードレース)	40	トライアスロン(トライアスロン)	60	陸上競技(駅伝)

- 5) あなたは、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催を通じて、大会開催地や国内において、どのような影響や効果が出ると思いますか。下記の項目ごとに、どの程度思うか 1 から 5 までの中で、最も近い番号を○で囲んでください。

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西は、	そう 思わない	あまり そう思わない	どちらでも ない	少し そう思う	そう思う
1) 生涯スポーツ活動を推進させる	1	2	3	4	5
2) 健康増進活動を推進させる	1	2	3	4	5
3) 生きがいに満ちた社会づくりを提供する	1	2	3	4	5
4) 地域住民の交流を活性化させる	1	2	3	4	5
5) 地域における住みやすい環境と街づくりを促進させる	1	2	3	4	5
6) 大会に関わる地域間交流や組織間連携を拡大させる	1	2	3	4	5
7) 観光振興と観光客を増加させる	1	2	3	4	5
8) スポーツ・健康産業を活性化させる	1	2	3	4	5
9) 日本・関西の文化を発信・成熟化させる	1	2	3	4	5
10) 開催地における国際化を推進させる	1	2	3	4	5
11) スポーツを通じてアジア全体を活性化させる	1	2	3	4	5
12) 国際交流による多様な文化理解を促進させる	1	2	3	4	5
13) 大会支援に関わる人材育成を推進させる	1	2	3	4	5
14) 大会に関わる研究開発や科学技術を発展させる	1	2	3	4	5
15) ユース世代への活力ある人生観を啓発させる	1	2	3	4	5

6) あなたは「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」に、どの程度関わっていますか。
下記項目ごとに最も近い番号を○で囲んでください。

	当てはま らない	あまり 当てはまらない	どちらでも ない	まあ 当てはまる	当てはまる
わたしは、「ワールドマスターズゲームズ 2021					
1) 関西」という大会の詳細(開催日程・参加基 準・開催競技等)を知っている	1	2	3	4	5
わたしは、「ワールドマスターズゲームズ 2021					
2) 関西」の大会に関わっていると感じる (SNS・メール・ニュース等で情報を受け取る)	1	2	3	4	5
わたしは、来年開催される「ワールドマスター					
3) ズゲームズ 2021 関西」を周囲(家族・友人・同 僚等)に広めていくつもりだ	1	2	3	4	5
わたしは、「ワールドマスターズゲームズ 2021					
4) 関西」に選手または大会ボランティアとして参 加したい	1	2	3	4	5

7) 宝塚市ではオープン競技の「ペタンク」が開催されるのを知っていますか。

1 知っている

2 知らない

※オープン競技とは、大会機運の醸成と大会参加機会を増やすことを目的に実施する競技のことです

8) ワールドマスターズゲームズは、大会ボランティアや観戦・応援による大会参加も可能です。
あなたはこれらの参加に対してどの程度関心がありますか。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会と合わせてお答えください。

		全く 関心がない	あまり 関心がない	まあ 関心がある	とても 関心がある
①2020年東京オリンピック					
1) 大会ボランティア	→	1	2	3	4
2) 大会会場での観戦や応援	→	1	2	3	4
3) テレビなどのメディアを通じた観戦や応援	→	1	2	3	4
②2020年東京パラリンピック					
1) 大会ボランティア	→	1	2	3	4
2) 大会会場での観戦や応援	→	1	2	3	4
3) テレビなどのメディアを通じた観戦や応援	→	1	2	3	4
③2021年ワールドマスターズゲームズ関西					
1) 大会ボランティア	→	1	2	3	4
2) 大会会場での観戦や応援	→	1	2	3	4
3) テレビなどのメディアを通じた観戦や応援	→	1	2	3	4

9) ワールドマスターズゲームズ 2021 関西のボランティア登録状況を教えてください。(○は1つだけ)
また、それを選んだ理由についてお書きください。

※ボランティア登録は2021年時点で30歳未満の方も可能です。

1 既に登録した

2 これから登録するつもりである

3 登録しないつもりである

その理由 →

<以下、あなた御自身についておうかがいします。>

【問20】あなたの年齢

満 () 歳

【問21】小中高大学時代に、運動・スポーツに関する団体（部活動、サークル、クラブ等）に所属していましたか。「所属していた」と回答された場合には、続けてその団体のスポーツ種目名をそれぞれ記入してください。複数ある場合には最も長く実施していたスポーツ種目名をご記入ください。

1) 小学校時代	1 無所属	2 所属 → スポーツ種目名()
2) 中学校時代	1 無所属	2 所属 → スポーツ種目名()
3) 高校時代	1 無所属	2 所属 → スポーツ種目名()
4) 大学時代	1 無所属	2 所属 → スポーツ種目名()

【問22】あなたは現在、スポーツクラブや同好会、チームなどの団体に所属していますか。

下記の項目ごとに、加入の状況について当てはまる番号にそれぞれ○をしてください。

	加入している	過去に加入していたが 現在は加入していない	これまで 加入したことはない
1) 職場のクラブや同好会	1	2	3
2) 学校のクラブや同好会	1	2	3
3) おおむね同じ県内の方が加入しているクラブや同好会	1	2	3
4) おおむね同じ市町村内の方が加入している地域のクラブ や同好会(スポーツクラブ 21 を含む)	1	2	3
5) 民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブ	1	2	3
6) 学校の OB・OG などが中心の団体	1	2	3
7) その他()	1	2	3

【問23】あなたの身体がの状況について（^{がい}障害の有無、運動の可否）をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1 障害がある（障害者手帳を持っている） | 2 (この1年間)運動することを医者から止められている |
| 3 (この1年間)寝たきり等で運動できる状態にない | 4 上記のいずれにも当てはまらない |

【問24】あなたが現在一緒に住んでいる家族をお答えください。（いくつでも○）

- | | | |
|---------|--------|----------|
| 1 配偶者 | 4 祖父母 | 7 その他() |
| 2 父親・母親 | 5 兄弟姉妹 | 8 一人暮らし |
| 3 子ども | 6 孫・ひ孫 | 9 答えたくない |

【問25】あなたは、このところ健康だと思いますか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------------|-----------------|---------|
| 1 健康である | 2 どちらかといえば健康である | |
| 3 どちらかといえば健康でない | 4 健康でない | 5 わからない |

<お礼とお願い>

●ご回答頂き、誠にありがとうございました。今後の調査にご協力頂ける方は、以下の欄にご連絡先（お電話番号またはメールアドレス）をお書き下さるようお願い申し上げます。

お電話番号： _____

メールアドレス： _____

以上ですべての質問が終了です。ご協力いただきありがとうございました。

審議会・策定委員会名簿

(敬称略・順不同)

1 宝塚市スポーツ推進審議会

会 長	永 田 隆 子	(武庫川女子大学名誉教授)
会長代理	谷 めぐみ	(湊川短期大学准教授)
委 員	金 山 千 広	(立命館大学教授)
	奥 村 迪 雄	(宝塚市体育協会副会長)
	関 戸 健 太	(宝塚市障害者スポーツ協会)
	田 中 百合子	(宝塚市スポーツ推進委員会会長)
	高 原 涉	(市民公募委員)
	萩 原 麻 希	(市民公募委員)
	樋 口 正 和	(県立宝塚西高等学校長 ~R3. 3. 31)
	宮 垣 覚	(県立宝塚北高等学校長 R3. 4. 1~)
	清 水 浩 明	(市立高司中学校長)
	木 下 明 人	(市立中山五月台小学校長 ~R2. 3. 31)
	坂 本 三 好	(市立西谷小学校長 R2. 4. 1~)

2 宝塚市スポーツ振興計画策定委員会

会 長	永 田 隆 子	(武庫川女子大学名誉教授)
副 会 長	谷 めぐみ	(湊川短期大学准教授)
委 員	田 中 百合子	(宝塚市スポーツ推進委員会会長)
	高 原 涉	(市民公募委員)
	清 水 浩 明	(市立高司中学校長)

宝塚市スポーツ振興計画（アクティブ宝塚）の策定審議経過

第2回 審議会 令和元年（2019年）10月25日（金）

- 議題 1 新宝塚市スポーツ振興計画の策定について（諮問）
- 2 策定スケジュールについて
- 3 市民意識調査について
- 4 策定委員会について

第1回 審議会 令和2年（2020年）8月26日（水）

- 議題 1 宝塚市民の運動・スポーツに関する意識調査結果について
- 2 宝塚市スポーツ振興計画達成状況について

第1回 策定委員会 令和2年（2020年）9月17日（木）

- 議題 1 計画（案）について

第2回 策定委員会 令和2年（2020年）11月5日（木）

- 議題 1 計画（案）について

第2回 審議会 令和3年（2021年）3月24日（水）

- 議題 1 計画（案）について

第1回 策定委員会 令和3年（2021年）4月7日（水）

- 議題 1 計画の原案について

第1回 審議会 令和3年（2021年）4月27日（火）

- 議題 1 計画の原案について（答申）